

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー (Barclays PLC) が 2016 年 7 月 29 日に発表した 2016 年度上半期決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本文書と英文リリースとの間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<https://www.home.barclays/barclays-investor-relations/results-and-reports/results.html> よりご覧いただけます。

Barclays PLC

Results Announcement

バークレイズ・ピーエルシー
2016 年度上半期決算報告書

2016 年 7 月 29 日発表

目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	2-4
グループ最高責任者によるご挨拶	5
グループ財務担当取締役のレビュー	6-9
事業部門別業績	
• バークレイズ UK	10-12
• バークレイズ・コーポレート&インターナショナル	13-16
• 本社	17
• バークレイズ・ノンコア	18-19
• アフリカ・バンキング-非継続事業	20
四半期業績の要約	21-23
コア事業部門別四半期業績	24-27
アフリカ・バンキング四半期業績 - 非継続事業	28
業績管理	
• 利ざやおよび残高	29
リスク管理	
• リスク管理および主要リスク	30
• 資金調達リスク - 流動性	31-35
• 資金調達リスク - 資本	36-40
• 信用リスク	41-45
• 市場リスク	46-48
要約連結財務書類	49-54
財務書類に対する注記(抜粋)	
• 人件費(原文注記 2)	55
• 引当金(原文注記 13)	56-57
• セグメント別開示引当金(原文注記 21)	58-59
• バークレイズ・ピーエルシー親会社貸借対照表(原文注記 22)	60

業績ハイライト

- グループの税引前利益はコア部門税引前利益が 39 億 6,700 万ポンド(2015 年度上半期:33 億 4,700 万ポンド)に増加し、ノンコア部門税引前損失が 19 億 400 万ポンド(2015 年度上半期:7 億 4,500 万ポンド)となったことを反映し、20 億 6,300 万ポンドとなりました(2015 年度上半期:26 億 200 万ポンド)。フランスのリテールおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業に関する減損費用 3 億 7,200 万ポンドを除くと、グループの税引前利益は 20 億 3,700 万ポンド(2015 年度上半期:32 億 1,700 万ポンド)でした。
- グループの平均有形株主資本利益率(RoTE)はコア部門株主帰属利益 24 億 4,400 万ポンド(2015 年度上半期:20 億ポンド)、ノンコア部門株主帰属損失 14 億 9,000 万ポンド(2015 年度上半期:5 億 8,200 万ポンド)を反映し、4.8%でした(2015 年度上半期:6.9%)。
- ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益 6 億 1,500 万ポンドと英国顧客への補償に係る引当金の追加繰入 4 億ポンドを含めると、コア部門の税引前利益は 19%増加し、39 億 6,700 万ポンドとなりました。コア部門 RoTE は平均有形株主資本が 400 億ポンド(2015 年度上半期:360 億ポンド)に増加し、12.5%となりました(2015 年度上半期:11.3%)。コア部門の基本的 1 株当たり利益は 14.8 ペンスでした(2015 年度上半期:12.1 ペンス)。
- ノンコア部門の税引前損失は当グループの戦略の持続的な遂行を反映し、19 億 400 万ポンドとなりました(2015 年度上半期:7 億 4,500 万ポンド)。損失は売却目的で保有するフランスのリテールおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業資産に関する減損費用 3 億 7,200 万ポンドを含みます。
- パークレイズ UK の基礎的 RoTE は 19.4%と好調でした(2015 年度上半期:21.9%)。基礎的税引前利益はパークレイカード・コンシューマーUK のインターチェンジ(売上交換)手数料収入の減少と減損費用の増加を受け、4%減少し、13 億 2,900 万ポンドとなりました。純利ざやばは 2 ベーシス・ポイント上昇し、3.59%となりました。
- パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの基礎的 RoTE は 10.7%でした(2015 年度上半期:12.4%)。基礎的収益は、引き続きコンシューマー、カード&決済事業が高い伸びを示し、コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)は減収となりましたが、厳しい市場環境の中で底堅く推移しました。
- ノンコア部門では戦略の遂行を持続し、当期は事業売却とデリバティブ・ポートフォリオの圧縮が順調に進展しました。ノンコア部門の期末割当有形株主資本は 80 億ポンドに減少し(2015 年 12 月:90 億ポンド)、市場動向の悪化にもかかわらず、リスク調整後資産は 2016 年度上半期にさらに 80 億ポンド減少し、467 億ポンドとなりました。
- 普通株式 Tier1 (CET1)資本比率は 11.6%に上昇しました(2015 年 12 月:11.4%)。CET1 資本は主に当期の利益 13 億ポンドを受け、16 億ポンド増加して 424 億ポンドになりました。グループのリスク調整後資産は引き続き積極的に管理され、主に米ドルおよびユーロが英ポンドに対して上昇したことにより、80 億ポンド増加して 3,660 億ポンドとなりました。
- レバレッジ比率は 4.2%に低下しました(2015 年 12 月:4.5%)。レバレッジ・エクスポージャーは、主に顧客の取引量の拡大に伴う現金および決済残高の増加、ならびに英ポンドに対する米ドルおよびユーロの上昇を受けて、1,270 億ポンド増加して 1 兆 1,550 億ポンドになりました。
- 1 株当たり正味有形資産価額は当期の利益と正味再評価差額の良好な動きを受け、289 ペンスに増加しました(2015 年 12 月:275 ペンス)。

2016 年度 4-6 月期の戦略遂行の進展

- パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の発行済株主資本の 12.2%を売却しました。現在、パークレイズは BAGL の発行済株主資本の 50.1%を保有しています。
- ポルトガルのリテール・バンキング、ウェルス・インベストメント・マネジメント各事業、コーポレート・バンキング事業の一部の売却を完了しました。
- フランスのリテール、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント各事業の売却に向けて、アナキャップ・フィナンシャル・パートナーズとの独占交渉を開始したことを発表しました。
- 教育・社会的住宅供給・地方自治体(ESHLA)向け貸付金をレンダー・オプション・ボロワー・オプション(LOBO)条項付きに条件変更しました。現在、これらの貸付金は償却原価ベースで保有する貸付金に区分されています。これにより、公正価値ベースで保有する ESHLA 向け貸付金は 80 億ポンド減少し、今後の ESHLA ポートフォリオの公正価値の変動は抑制されます。
- 利率 7.75%の第 4 回非累積型繰上償還可能米ドル建優先株式 11 億 5,000 万ドルを償還しました。

業績ハイライト

当グループの業績(半期)

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	11,013	12,111	(9)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(931)	(779)	(20)
営業収益純額	10,082	11,332	(11)
営業費用	(7,172)	(6,624)	(8)
訴訟および特定行為	(525)	(1,966)	73
営業費用合計	(7,697)	(8,590)	10
その他の費用純額	(322)	(140)	
税引前利益	2,063	2,602	(21)
税金	(715)	(852)	16
継続事業に係る税引後利益	1,348	1,750	(23)
非継続事業に係る税引後利益 ¹	311	358	(13)
継続事業に係る非支配持分	(186)	(173)	(8)
非継続事業に係る非支配持分 ¹	(155)	(165)	6
その他の株主 ²	(208)	(159)	(31)
株主帰属利益	1,110	1,611	(31)

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率 ²	4.8%	6.9%
平均有形株主資本(億ポンド)	480	480
収益に対する費用の比率	70%	71%
貸倒率(ベース・ポイント)	39	35
基本的1株当たり利益 ²	6.9ペンス	9.9ペンス
1株当たり配当金	1.0ペンス	2.0ペンス

貸借対照表および資本管理

	2016年 6月30日現在	2015年 12月31日現在
1株当たりの正味有形資産価額	289ペンス	275ペンス
普通株式Tier1比率	11.6%	11.4%
普通株式Tier1資本	424億ポンド	407億ポンド
リスク調整後資産	3,660億ポンド	3,580億ポンド
レバレッジ比率	4.2%	4.5%
完全施行ベースのTier1資本	479億ポンド	462億ポンド
レバレッジ・エクスポージャー	11,550億ポンド	10,280億ポンド

資金調達および流動性

グループ余剰流動性	1,490億ポンド	1,450億ポンド
推計CRD IV流動性カバレッジ比率	124%	133%
推計安定調達比率	106%	106%
預貸率 ³	85%	86%

¹ アフリカ・バンキングの非継続事業に関する詳細情報については20ページをご参照下さい。

² その他の株主に帰属する税引後利益2億800万ポンド(2015年度上半期:1億5,900万ポンド)は、剰余金に計上する税額控除5,800万ポンド(2015年度上半期:3,200万ポンド)によって、相殺されます。相殺後残高である1億5,000万ポンド(2015年度上半期:1億2,700万ポンド)は、非支配持分(NCI)とともに、1株当たり利益および平均有形株主資本利益率の計算に際して税引後利益から控除されています。

³ 預貸率はパークレイズUK、コンシューマー、カード&決済事業、コーポレート、ノンコア・リテールに係るものです。

業績ハイライト

パークレイズ・コアおよびノンコアの業績 (半期)

	パークレイズ・コア			パークレイズ・ノンコア		
	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
保険金控除後の収益合計	11,599	11,646	-	(586)	465	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(876)	(718)	(22)	(55)	(61)	10
営業収益 / (費用) 純額	10,723	10,928	(2)	(641)	404	
営業費用	(6,315)	(5,679)	(11)	(857)	(945)	9
訴訟および特定行為	(432)	(1,834)	76	(93)	(132)	30
営業費用合計	(6,747)	(7,513)	10	(950)	(1,077)	12
その他の費用純額	(9)	(68)	87	(313)	(72)	
税引前利益 / (損失)	3,967	3,347	19	(1,904)	(745)	
税金 (費用) / 還付	(1,181)	(1,088)	(9)	466	236	97
税引後利益 / (損失)	2,786	2,259	23	(1,438)	(509)	
非支配持分	(164)	(132)	(24)	(22)	(41)	46
その他の株主	(178)	(127)	(40)	(30)	(32)	6
株主帰属利益 / (損失)¹	2,444	2,000	22	(1,490)	(582)	

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	12.5%	11.3%			
平均割当有形株主資本 (億ポンド) ¹	400	360		80	120
期末割当株主資本 (億ポンド) ¹	410	370		80	100
収益に対する費用の比率	58%	65%		n/m	n/m
貸倒率 (ベース・ポイント)	43	38		15	17
基本的 1 株当たり利益 / (損失) への寄与	14.8 ペンス	12.1 ペンス		(8.8 ペンス)	(3.5 ペンス)

資本管理

	2016年		2015年	
	6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在	12月31日現在
リスク調整後資産 ¹	3,200 億ポンド	3,040 億ポンド	470 億ポンド	540 億ポンド
レバレッジ・エクスポージャー ¹	10,210 億ポンド	8,790 億ポンド	1,340 億ポンド	1,490 億ポンド

特記事項 (半期)

	2016年		2015年	
	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
当グループ自身の信用度に関連する利益	183	410	-	-
ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分 売却による利益	615	-	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	496	-	-
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および 訴訟に係る引当金	-	(800)	-	-
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	429	-	-
英国顧客への補償に係る引当金	(400)	(967)	-	(65)
スペイン事業の売却に係る損失	-	(97)	-	(21)

特記事項を除けば、コアの平均有形株主資本利益率は 10.8% (2015 年度上半期: 13.7%)、基本的 1 株当たり利益は 12.9 ペンス (2015 年度上半期: 15.0 ペンス) でした。特記事項を除けば、ノンコアの基本的 1 株当たり損失は 8.8 ペンス (2015 年度上半期: 3.0 ペンス) でした。

¹ アフリカ・バンキングの非継続事業に関する帰属利益はグループ・レベルでのみ表示されています。割当有形株主資本、リスク調整後資産およびレバレッジ・エクスポージャーは、コア部門である本社に含まれています。

事業部門別収益	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)		2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)		増減率 (%)
パークレイズ UK		3,746		3,635	3
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社		301		455	(34)
パークレイズ・コア		11,599		11,646	-
パークレイズ・ノンコア		(586)		465	
パークレイズ・グループ		11,013		12,111	(9)
事業部門別税引前利益 / (損失)					
パークレイズ UK		1,080		712	52
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社		134		255	(47)
パークレイズ・コア		3,967		3,347	19
パークレイズ・ノンコア		(1,904)		(745)	
パークレイズ・グループ		2,063		2,602	(21)

グループ最高責任者によるご挨拶

「当四半期は当グループが戦略に沿って前進していることを示す非常に心強い結果になりました。

コア部門であるパークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルは好調に推移し続け、当上半期の RoTE は両部門とも 2 桁となり、合わせて 12.5% に達しました。これは当グループの将来の中心にはすでに質の高いフランチャイズが存在することを示しています。

そのコア部門の収益力を存分に引き出すためのカギとなるノンコア部門の圧縮は順調に進展しており、2017 年の部門閉鎖に向けて引き続き取り組みます。

当グループは 5 月にパークレイズ・アフリカ持分の削減に着手しました。12.2% の持分の売り出しにはこれを大幅に上回る応募が集まり、売却は成功を収めました。同資産に対する関心の高さを踏まえ、当グループはアフリカ事業の非連結化への自信を強めています。

コストについては引き続き管理を徹底しており、コア部門費用を 128 億ポンド(為替変動の影響を除く)とする 2016 年の目標は達成に向けて順調に進んでいます。その先については、本日、2017 年のノンコア部門コストを 2016 年の見通しを大幅に下回る 4~5 億ポンドとする計画を新たに発表します。

また、喜ばしいことに、当四半期は資本基盤の強化が進み、CET1 資本比率は 11.6% に上昇しました。

当グループの優先事項は、これまでどおり、コア事業の強化、できる限り早期のパークレイズ・ノンコアの閉鎖、非連結化が可能な水準へのパークレイズ・アフリカ持分の削減、コア・ノンコア両部門のコストの削減、レガシー問題の対処、資本基盤の着実な強化です。

総合すると、4-6 月期は、当グループの戦略に沿って、力強くかつ加速的な進展を見せました。これはパークレイズにとって正しい計画という確信は変わっていません。先月の国民投票で英国の EU 離脱が決定しましたが、計画の内容あるいは達成ペースを修正する必要があるとは考えていません。

当グループのビジネス・モデルが備える多様性に長年にわたるリスクに対する保守的なアプローチが相まって、パークレイズでは EU 離脱決定が経済に与える潜在的な影響を乗り切る態勢が整っています。当グループはビジネスに非常に前向きであり、この不確実な局面にあって、お客様、そして実体経済を支援するために全力で取り組んでまいります。」

グループ最高責任者 ジェイムズ・E・ステイラー

グループ財務担当取締役のレビュー

当上半期のグループの業績はノンコア部門の業績の影響を受けました。ノンコア部門は資産圧縮を引き続き推し進めた結果、収益が 5 億 8,600 万ポンドの純費用(2015 年度上半期:4 億 6,500 万ポンドの収益)となったことを受け、19 億 400 万ポンド(2015 年度上半期:7 億 4,500 万ポンド)の税引前損失となりました。ノンコア部門の業績は ESHLA ポートフォリオに係る公正価値評価損 4 億 2,400 万ポンド(2015 年度上半期:1 億 7,500 万ポンド)と売却目的で保有するフランスのリテールおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業資産に関する減損費用 3 億 7,200 万ポンドを含みます。この減損費用と特記事項を除くと、グループの税引前利益は 20 億 3,700 万ポンドでした(2015 年度上半期:32 億 1,700 万ポンド)。

コア部門は好調で、平均有形株主資本は 400 億ポンドに増加し(2015 年度上半期:360 億ポンド)、RoTE は 12.5%となりました(2015 年度上半期:11.3%)。これはパークレイズ UK の着実な業績と、パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの堅調な業績によるものです。CIB は、厳しい市場環境(特にクレジット)にもかかわらず底堅く推移する一方、コンシューマー、カード&決済事業の高い伸びが税引前利益の大幅な増加を牽引しました。コア部門の業績はパークレイズの保有するビザ・ヨーロッパ・リミテッド株のビザ・インクへの売却完了に伴う利益 6 億 1,500 万ポンド(2015 年度上半期:ゼロポンド)と英国顧客への補償に係る引当金の追加繰入れ 4 億ポンド(2015 年度上半期:9 億 6,700 万ポンド)を含みます。

コア部門の営業費用合計は 10%減少し、67 億 4,700 万ポンドでした。英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートでの上昇と構造改革プログラムの実施に伴うコスト増加により一部相殺されたものの、訴訟および特定行為に係る費用の減少、戦略的コスト・プログラムによるコスト削減効果、報酬コストの減少を反映しています。

グループの業績

- 税引前利益は 21%減少し、20 億 6,300 万ポンドとなりました。主としてノンコア部門の税引前損失が 19 億 400 万ポンド(2015 年度上半期:7 億 4,500 万ポンド)となったことが影響しましたが、コア部門の税引前利益は 39 億 6,700 万ポンドと 19%増加しました。
- 平均有形株主資本利益率は 4.8%(2015 年度上半期:6.9%)、基本的 1 株当たり利益は 6.9 ペンスでした(2015 年度上半期:9.9 ペンス)。
- 保険金控除後の収益合計はノンコア部門の収益が 5 億 8,600 万ポンドの純費用(2015 年度上半期:4 億 6,500 万ポンドの収益)となったことに伴い、9%減少し、110 億 1,300 万ポンドとなりました。コア部門の収益は 115 億 9,900 万ポンドと横ばいでした(2015 年度上半期:116 億 4,600 万ポンド)。
- 信用に関する減損費用は 1 億 5,200 万ポンド増加し、9 億 3,100 万ポンドとなりました。主に、石油およびガス・セクターの顧客に関連するものを中心とする複数のシングルネームのエクスポージャーの減損と減損モデルの見直しに伴うパークレイカード・コンシューマーUK の減損費用の増加によるものです。貸倒率は 4 ベーシス・ポイント上昇し、39 ベーシス・ポイントとなりましたが、基礎的延滞率は安定していました。
- 営業費用合計は 10%減少し、76 億 9,700 万ポンドとなりました。リストラおよび構造改革プログラムの実施に関連する費用とコンシューマー、カード&決済事業への持続的な投資により一部相殺されたものの、訴訟および特定行為に係る費用の減少と戦略的コスト・プログラムによるコスト削減効果を反映しています。営業費用合計は、英国顧客への補償に係る引当金の追加繰入れ 4 億ポンド(2015 年度上半期:10 億 3,200 万ポンド)を含みます。
- 税引前利益の実効税率は 34.7%に上昇しました(2015 年度上半期:32.7%)。
- 継続事業に係る税引後利益は 23%減少し、13 億 4,800 万ポンドとなりました。アフリカ・バンキングの非継続事業に係る税引後利益は南アフリカ・ランドが英ポンドに対して平均して下落したことを受け、13%減少し、3 億 1,100 万ポンドとなりました。
- 特記事項は 3 億 9,800 万ポンドの税引前純利益となりました(2015 年度上半期:6 億 1,500 万ポンドの損失)。2016 年度上半期の特記事項は、英国顧客への補償に係る引当金の追加繰入れ 4 億ポンド(2015 年度上半期:10 億 3,200 万ポンド)、ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益 6 億 1,500 万ポンド(2015 年度上半期:ゼロポンド)、当グループ自身の信用度に関連する利益 1 億 8,300 万ポンド(2015 年度上半期:4 億 1,000 万ポンド)です。
- グループの損益計算書の成績は英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートでの上昇が、収益を押し上げる一方で、減損費用と営業費用に悪影響を及ぼしたことにより、大きな影響を受けました。

以下の業績に関する記述は特記事項を除き、全て基礎的ベースに基づいています。

コア部門の業績

- コア部門の基礎的パフォーマンスは、税引前利益が 8%減少し、35 億 6,900 万ポンドとなったことと、ノンコア部門の資本の再配分に伴う平均有形株主資本が 40 億ポンド増加し、400 億ポンドとなったことを反映し、10.8%の RoTE を生み出しました(2015 年度上半期:13.7%)。
- 基礎的収益合計は 1%増加し、108 億 100 万ポンドとなりました。コンシューマー、カード&決済事業が 19%増加し、18 億 8,100 万ポンドとなりましたが、厳しい市場環境の影響を受けた CIB の収益合計が 5%減少し、52 億 700 万ポンドとなったことにより一部相殺されました。パークレイズ UK の基礎的収益合計は主に欧州仲介手数料規制の影響を反映し、1%減少し、35 億 9,500 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は 1 億 5,800 万ポンド増加し、8 億 7,600 万ポンドとなりました。主に石油およびガス・セクターの顧客に関連するものを中心とする複数のシングルネームのエクスポージャーの減損と減損モデルの見直しに伴うパークレイカード・コンシューマーUK における増加によるものです。

グループ財務担当取締役のレビュー

- 基礎的営業費用合計は 3%増加し、63 億 4,700 万ポンドとなりました。戦略的コスト・プログラムによるコスト削減効果により一部相殺されたものの、英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートの上昇と構造改革プログラムの実施に伴うコスト増加を反映しています。

パークレイズ UK

- 基礎的 RoTE は 19.4%でした (2015 年度上半期: 21.9%)。
- 基礎的税引前利益は、営業費用合計の 1%の減少により一部相殺されたものの、主に欧州仲介手数料規制の影響と信用に関する減損費用の 10%の増加による収益合計の 1%の減少により、4%減少し、13 億 2,900 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用はパークレイカード・コンシューマーUK における減損モデルの見直しを主因に 10%増加し、3 億 6,600 万ポンドとなりましたが、30 日および 90 日延滞率は前年同期比で横ばいとどまりました。
- 基礎的営業費用合計は、構造改革プログラムの実施に伴うコストにより一部相殺されたものの、戦略的コスト・プログラムによるコスト削減効果を反映し、基礎的営業費用合計は 1%減少しました。

パークレイズ・コーポレート&インターナショナル

- 基礎的 RoTE は 10.7%でした (2015 年度上半期: 12.4%)。
- 基礎的税引前利益は 10%減少し、22 億 8,900 万ポンドとなりました。石油およびガス・セクターの顧客に関連するものを中心とする信用に関する減損費用の 33%の増加に加え、英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートの上昇および構造改革プログラムの実施に伴うコスト増加により、営業費用が 4%の増加したことによるものです。
- 基礎的収益合計は、英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートの上昇の影響を含め、70 億 8,800 万ポンドと概ね横ばいでした (2015 年度上半期: 70 億 6,000 万ポンド)。コンシューマー、カード&決済事業の収益は、パークレイカードの米国およびドイツ事業と加盟店獲得事業の持続的な伸びを受け、19%増加しました。CIB の収益は、クレジットの 35%の増加により一部相殺されたものの、好調だった 2015 年度上半期と比べて株式とマクロがそれぞれ 22%、4%減少した結果マーケッツ業務の収益が 6%減少したことにより、5%減少しました。バンキング業務の収益は 5%減少しました。

本社

- 基礎的税引前損失は 4,900 万ポンドでした (2015 年度上半期: 5,800 万ポンドの損失)。2016 年度第 1 四半期に実施した劣後償買い戻しに伴う一過性の利益を含む、トレジャリー業務の結果を反映しています。

ノンコア部門の業績

- ノンコア部門の資産圧縮は引き続き順調です。この一環として、パークレイズは 2016 年 4 月 27 日、フランスのリテールおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント各事業の売却に向けて、アナキャップ・フィナンシャル・パートナーズとの独占交渉を開始したことを発表しました。その他の費用純額はこれらの資産に関する減損費用 3 億 7,200 万ポンドを含みます。
- 2016 年度第 2 四半期に ESHLA ポートフォリオ貸付金を LOBO 条項付きに条件変更しました。この条件変更の結果、2016 年度第 2 四半期のノンコア収益に 1 億 8,200 万ポンドの一過性の損失を計上しました。また、これに伴い、既存のレベル 3 の公正価値ベースの貸付資産 80 億ポンドは認識が中止され、条件変更後の資産は償却原価ベースで測定されます。この結果、今後、パークレイズでは ESHLA ポートフォリオの公正価値の変動が低減する効果が見込まれます。
- ノンコア部門のリスク調整後資産は 467 億ポンドに減少しました (2015 年 12 月: 543 億ポンド)。米ドルおよびユーロの英ポンドに対する上昇の影響があったものの、デリバティブが 30 億ポンド、証券および貸付金が 30 億ポンドそれぞれ減少したほか、ポルトガルのリテール・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント各事業、コーポレート・バンキング事業の一部の売却完了に伴う 18 億ポンドの減少を含め、事業部門のリスク調整後資産が 10 億ポンド減少したことを反映しています。
- 基礎的税引前損失は 19 億 400 万ポンドに拡大しました (2015 年度上半期: 6 億 5,900 万ポンド)。ESHLA ポートフォリオに係る公正価値評価損 4 億 2,400 万ポンド (2015 年度上半期: 1 億 7,500 万ポンド)、ESHLA ポートフォリオ貸付金を LOBO 条項付きに変更したことによる一過性の損失 1 億 8,200 万ポンド、パークレイズ・ウェルスの米州事業、英国の有担保貸付事業、ポルトガルのリテールおよび保険事業の売却完了に伴う減収などにより、収益合計が 10 億 5,100 万ポンド減少して 5 億 8,600 万ポンドの純費用になったことを受けています。デリバティブの収益は、ポートフォリオの圧縮と資金調達コストを反映し、1 億 3,500 万ポンド減少し、1 億 9,800 万ポンドの純費用となりました。
- 基礎的営業費用は 6%減少しました。リストラ費用 1 億 8,000 万ポンドの増加によって部分的に相殺されたものの、複数の国での特定のインベストメント・バンキング業務からの撤退によるコスト削減効果、複数の事業の売却の完了、ポートフォリオの圧縮を反映しています。

グループ財務担当取締役のレビュー

グループの資本、レバレッジ、貸借対照表

- レバレッジ比率は貸借対照表の変動を主因とするレバレッジ・エクスポージャーの増加により 4.2%に低下しました(2015 年 12 月:4.5%)。
- レバレッジ・エクスポージャーは 12%増加し、1 兆 1,550 億ポンドとなり、資産合計は 2015 年 12 月 31 日現在と比べて 21%増加し、1 兆 3,510 億ポンドとなりました。
 - 貸付金合計およびその他資産は 930 億ポンド増加し、7,180 億ポンドとなりました。この増加は主に EU を巡る国民投票に備えてグループの余剰流動性の現金部分を増やしたことによる現金および中央銀行預け金の 270 億ポンドの増加、顧客の取引量の拡大に伴う決済残高の 260 億ポンドの増加、パークレイズ・コーポレート&インターナショナルにおける貸付金の 140 億ポンドの増加および英ポンドに対する南アフリカ・ランドの上昇を受けたアフリカ・バンキングの売却目的資産の 80 億ポンドの増加によるものです。
 - 正味デリバティブ・レバレッジ・エクスポージャーは概ね横ばいでした。資産が 1,170 億ポンド増加し 4,450 億ポンドとなったものの、デリバティブ負債の増加により、規制上のデリバティブ・ネットिंगが 1,090 億ポンド増加し 4,020 億ポンドとなったことにより相殺されたためです。主要先渡金利フォワード・カーブの低下と英ポンドに対する全主要通貨の上昇を反映した金利デリバティブと為替デリバティブが増加の大半を占めました。
- CRD IV 完全施行ベースの CET1 資本比率は 11.6%に上昇しました(2015 年 12 月:11.4%)。CET1 資本が 16 億ポンド増加し 424 億ポンド、リスク調整後資産が 80 億ポンド増加し 3,660 億ポンドとなったことを反映しています。
 - CET1 資本の増加は、主に当期の利益と、英ポンドに対する全主要通貨の上昇を受けた為替換算再評価差額を含む、その他適格剰余金の良好な動きを受けています。
 - リスク調整後資産の増加は、主に英ポンドに対する米ドル、ユーロおよび南アフリカ・ランドの上昇の影響がノンコア部門の基礎的リスク調整後資産の減少を上回ったことによるものです。
- 1 株当たり正味有形資産価額は当期の利益と剰余金純額の良好な動きを受け、289 ペンスに増加しました(2015 年 12 月:275 ペンス)。

グループの資金調達および流動性

- 当グループは引き続き 2016 年度上半期に、内部および規制上の要件を上回る流動性を維持しました。余剰流動性は 1,490 億ポンドとなりました(2015 年 12 月:1,450 億ポンド)。流動性カバレッジ比率(LCR)は 124%に低下しました(2015 年 12 月:133%)。これは 290 億ポンドの余剰に相当します(2015 年 12 月:370 億ポンド)。余剰流動性の低下は、主にパークレイズの資金調達コストの最適化に伴い、イングランド銀行の貸付資金調達支援スキームにより調達した 120 億ポンドを 2016 年度第 1 四半期に早期返済した影響によるものです。
- ホールセール資金調達残高合計(レポ取引を除く)は 2016 年 6 月 23 日の英国の国民投票を直後に控えて流動性ポジション管理に慎重を期したことを受け、120 億ポンド増加し、1,540 億ポンドとなりました。当グループは 2016 年度上半期に持株会社のシニア無担保債および資本取引により 57 億ポンドを調達しました。うち、42 億ポンドは公募シニア無担保債、6 億ポンドは私募シニア無担保債、9 億ポンドは劣後債でした。2016 年度上半期にパークレイズ・バンク・ピーエルシーのシニア債および資本性商品 61 億ポンドを買い戻し、または繰上償還しました。パークレイズ・ピーエルシーが調達した資金はいずれの場合も同一の格付けが付されたパークレイズ・バンク・ピーエルシー発行の金融商品への投資に用いられました。

グループ財務担当取締役のレビュー

その他の事項

- パークレイズは 2016 年 5 月 5 日、短期間でブックビルディングを行う売出し方式により、保有する BAGL の普通株式 1 億 360 万株 (BAGL の発行済株主資本の 12.2% に相当) を 1 株当たり 126 南アフリカ・ランドで売却しました。この売却により CET1 資本比率は 2016 年度第 2 四半期にプロフォーマ・ベースで 10 ベーシス・ポイント押し上げられました。現在、パークレイズは BAGL の普通株式の 4 億 2,470 万株 (発行済株主資本の 50.1% に相当) を保有しています。BAGL は 2016 年 6 月 30 日現在、引き続き当グループの完全連結会社です。
- パークレイズは 2016 年 5 月 10 日、利率 7.75% の第 4 回非累積型繰上償還可能米ドル建優先株式 11 億 5,000 万ドルを償還する権利を、任意償還日である 2016 年 6 月 15 日に行使すると発表しました。償還の結果、CET1 資本比率は 2016 年度第 2 四半期にプロフォーマ・ベースで 6 ベーシス・ポイント押し下げられましたが、2016 年 6 月 15 日以降、年間 8,900 万ドルの未払優先株配当金は減少し続けます。
- ビザ・インクによるビザ・ヨーロッパ・リミテッドの取得が 2016 年 6 月 21 日に完了した結果、2016 年度第 2 四半期に 6 億 1,500 万ポンドの税引前売却益を認識しました。このうち 3 億 9,600 万ポンドは、2015 年度第 4 四半期に売却可能投資再評価差額として認識されていました。
- 支払保障保険 (PPI) に関連する英国顧客への補償に係る引当金 4 億ポンドの追加繰入れを 2016 年度第 2 四半期に計上しました (2015 年度上半期: 10 億 3,200 万ポンド)。これは、進行中の是正プログラムに関連するコストの最新の見積もりを主に反映しています。
- 2016 年度上半期の業績は、当グループ自身の信用度に関連する利益 1 億 8,300 万ポンドを含みます (2015 年度上半期: 4 億 1,000 万ポンド)。

配当

- 中間期の配当金 1.0 ペンスは 2016 年 9 月 19 日に支払われる予定です。

見通しおよび計画

- 2016 年度のコア部門のコストの計画額は為替の動き¹にもよりますが、訴訟および特定行為に係る費用を除き、128 億ポンドと変更はありません。
- 2016 年度のノンコア部門収益および営業費用の現行計画に変更はありません。2017 年度のノンコア部門営業費用は特記事項を除き、4 億ポンドから 5 億ポンドの間を計画しています。2017 年度のノンコア部門リスク調整後資産は約 200 億ポンドとする計画に変更はありません。

¹ 2016 年度コア部門コスト計画額 128 億ポンドは 1 ポンド = 1.42 米ドルを想定。

グループ財務担当取締役、トウシャー・モーザリア

事業部門別業績

パークレイズ UK

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	2,977	2,965	-
手数料収入純額およびその他の収益	769	670	15
収益合計	3,746	3,635	3
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(366)	(333)	(10)
営業収益純額	3,380	3,302	2
営業費用	(1,899)	(1,619)	(17)
訴訟および特定行為	(400)	(969)	59
営業費用合計	(2,299)	(2,588)	11
その他の費用純額	(1)	(2)	50
税引前利益	1,080	712	52
株主帰属利益	608	490	24

	2016年 6月30日現在 (億ポンド)	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,660	1,661	1,661
資産合計	2,046	2,025	2,022
顧客預り金	1,817	1,768	1,716
リスク調整後資産	671	695	717

	2016年 6月30日に 終了した半期	2015年 6月30日に 終了した半期
重要な数値		
モーゲージ・ポートフォリオの平均 LTV ¹	47%	51%
新規モーゲージ貸付の平均 LTV ¹	63%	62%
支店数	1,331	1,448
パークレイズ・モバイル・バンキング顧客数	5.2 百万人	4.2 百万人
30日以上延滞率 - パークレイカード・コンシューマーUK	2.3%	2.4%

パフォーマンス指標

	2016年 6月30日に 終了した半期	2015年 6月30日に 終了した半期
平均有形株主資本利益率	13.6%	10.6%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	91	94
収益に対する費用の比率	61%	71%
貸倒率(ベース・ポイント)	43	40
預貸率	91%	97%
純利ざや	3.59%	3.57%

特記事項

	(百万ポンド)	(百万ポンド)
ピザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	151	-
英国顧客への補償に係る引当金	(400)	(967)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	296

特記事項を除けばパークレイズ UK の平均有形株主資本利益率は 19.4%(2015 年度上半期: 21.9%) でした。

¹ モーゲージ・ポートフォリオの平均 LTV および新規モーゲージ貸付の平均 LTV は金額を加重平均して計算しています。

事業部門別業績

パークレイズ UK の内訳

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
収益合計の内訳			
パーソナル・バンキング	1,987	1,832	8
パークレイカード・コンシューマーUK	954	1,008	(5)
ウェルス、アントレプレナービジネス・バンキング	805	795	1
収益合計	3,746	3,635	3
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額の内訳			
パーソナル・バンキング	(86)	(119)	28
パークレイカード・コンシューマーUK	(274)	(201)	(36)
ウェルス、アントレプレナービジネス・バンキング	(6)	(13)	54
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額合計	(366)	(333)	(10)
	2016年 6月30日現在 (億ポンド)	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 6月30日現在 (億ポンド)
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳			
パーソナル・バンキング	1,347	1,340	1,344
パークレイカード・コンシューマーUK	162	162	158
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	151	159	159
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,660	1,661	1,661
顧客預り金内訳			
パーソナル・バンキング	1,348	1,310	1,267
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	-
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	469	458	449
顧客預り金合計	1,817	1,768	1,716

パークレイズ UK

損益計算書 – 2016 年度上半期と 2015 年度上半期の比較

- 税引前利益は 52%増加し、10 億 8,000 万ポンドとなりました。特記事項の影響を除いた基礎的税引前利益は 4%減少し、13 億 2,900 万ポンドとなりました。これは、営業費用の減少により一部相殺されたものの、減収および信用に関する減損費用の増加によるものです。
- 収益合計は 3%増加し、37 億 4,600 万ポンドとなりました。これにはパーソナル・バンキングおよびビジネス・バンキングで認識された、パークレイズのピザ・ヨーロッパ・リミテッド持分の売却による利益が含まれています。基礎的収益合計は 1%減少し、35 億 9,500 万ポンドとなりました。内訳は以下の通りです。
 - パーソナル・バンキングの収益はモーゲージの利ざや低下により一部相殺されたものの、預金利ざやの改善と残高の増加を反映して 1%増加し、18 億 5,800 万ポンドとなりました。
 - パークレイカード・コンシューマーUKの収益は 2015 年 12 月に本格的に施行され、現在完全実施されている欧州仲介手数料規制の影響を主因に 5%減少し、9 億 5,400 万ポンドとなりました。
 - ウェルズ、アントレプレナービジネス・バンキング (WEBB) の収益は、預金利ざやの改善と残高の増加により一部相殺されたものの、株式市場における顧客の取引意欲の低下と運用資産の減少により 2%減少し、7 億 8,300 万ポンドとなりました。
 - 利息収入純額は 29 億 7,700 万ポンドで概ね横ばいでした (2015 年度上半期: 29 億 6,500 万ポンド)。残高の増加と預金のプライシングの取り組みがモーゲージの利ざや低下により相殺されました。
 - 純利ざやは貸付利ざやの低下により一部相殺されたものの、パーソナル・バンキングの預金利ざやの上昇を反映して 2 ベーシス・ポイント上昇し、3.59%となりました。
 - 手数料収入純額およびその他の収益は 8%減少し、6 億 1,800 万ポンドとなりました。2015 年 12 月に本格的に施行され、現在完全実施されている欧州仲介手数料規制の影響および WEBB の手数料収入の減少を反映しています。
- 信用に関する減損費用はパークレイカード・コンシューマーUKの減損モデルの微調整を主因に 10%増加し、3 億 6,600 万ポンドとなりました。30 日および 90 日延滞率は前年同期から横ばいで推移しました。
- 営業費用合計は 11%減少し、22 億 9,900 万ポンドとなりました。これには英国顧客への補償に係る引当金が含まれていません。基礎的営業費用合計は 1%減少し、18 億 9,900 万ポンドとなりました。構造改革プログラムの実施に伴うコストとデジタル投資による償却の増加により一部相殺されたものの、支店網の再編と技術改善に関連する戦略的コスト・プログラムによる費用の削減を反映しています。
- 基礎的収益に対する費用の比率は 53% (2015 年度上半期: 53%)、基礎的 RoTE は 19.4% (2015 年度上半期: 21.9%) でした。

貸借対照表 – 2016 年 6 月 30 日と 2015 年 12 月 31 日の比較

- 顧客に対する貸付金は 1,660 億ポンドで横ばいでした (2015 年 12 月: 1,661 億ポンド)。
- 資産合計は WEBB の増加を反映して 1%増加し、2,046 億ポンドとなりました。
- 顧客預り金はパーソナル・バンキングの残高増加を主因に 3%増加し、1,817 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は健全性監督機構 (PRA) による承認後の信用リスクのモデル変更を主因に 24 億ポンド減少し、671 億ポンドとなりました。

事業部門別業績

パークレイズ・コーポレート&インターナショナル

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	2,111	2,095	1
トレーディング収益純額	2,375	2,372	-
手数料収入純額およびその他の収益	3,066	3,089	(1)
収益合計	7,552	7,556	-
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(509)	(384)	(33)
利息収入純額	7,043	7,172	(2)
営業費用	(4,295)	(3,963)	(8)
訴訟および特定行為	(14)	(857)	98
営業費用合計	(4,309)	(4,820)	11
その他収益合計	19	28	(32)
税引前利益	2,753	2,380	16
株主帰属利益	1,746	1,360	28

	2016年 6月30日現在 (億ポンド)	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	2,306	1,841	2,105
トレーディング・ポートフォリオ資産	681	619	753
デリバティブ金融資産	1,814	1,115	1,160
デリバティブ金融負債	1,875	1,190	1,248
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	197	247	574
公正価値で測定すると指定された金融資産	683	468	56
資産合計	6,799	5,322	5,661
顧客預り金 ²	2,265	1,856	1,977
リスク調整後資産	2,093	1,948	1,954

	2016年 6月30日に 終了した半期	2015年 6月30日に 終了した半期
パフォーマンス指標		
平均有形株主資本利益率	14.3%	11.0%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	250	250
収益に対する費用の比率	57%	64%
貸倒率(ベース・ポイント)	44	36
預貸率	90%	92%
純利ざや ³	4.76%	4.52%

	2016年 (百万ポンド)	2015年 (百万ポンド)
特記事項		
ピザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	464	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	496
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	(800)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	133

特記事項を除けば、パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの平均有形株主資本利益率は10.7%(2015年度上半期:12.4%)でした。

1 2016年6月30日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金2,044億ポンド(2015年12月:1,626億ポンド)(決済残高399億ポンド(2015年12月:185億ポンド)および現金担保298億ポンド(2015年12月:248億ポンド)を含む)および銀行に対する貸付金262億ポンド(2015年12月:215億ポンド)(決済残高62億ポンド(2015年12月:16億ポンド)および現金担保53億ポンド(2015年12月:57億ポンド)を含む)で構成されています。コンシューマー、カード決済事業に係る銀行および顧客に対する貸付金は354億ポンド(2015年12月:321億ポンド)でした。

2 2016年6月30日現在の顧客預り金には決済残高389億ポンド(2015年12月:163億ポンド)および現金担保187億ポンド(2015年12月:159億ポンド)が含まれています。

3 インベストメント・バンキングに関連する残高は除外されています。

事業部門別業績

パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)	2016年	2015年	増減率
	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	
損益計算書関連の情報			
損益計算書関連の情報			
クレジット	591	438	35
株式	919	1,177	(22)
マクロ	1,185	1,239	(4)
マーケット	2,695	2,854	(6)
バンキング手数料	1,103	1,128	(2)
コーポレート貸付	608	672	(10)
トランザクション・バンキング	798	829	(4)
バンキング	2,509	2,629	(5)
その他	3	496	(99)
収益合計	5,207	5,979	(13)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(132)	(41)	
営業費用合計	(3,465)	(4,027)	14
税引前利益	1,610	1,912	(16)

貸借対照表関連の情報	2016年	2015年	2015年
	6月30日現在 (億ポンド)	12月31日現在 (億ポンド)	6月30日現在 (億ポンド)
リスク調整後資産	1,784	1,673	1,700

パフォーマンス指標	2016年	2015年
	6月30日に 終了した半期	6月30日に 終了した半期
平均有形株主資本利益率	8.4%	9.8%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	215	220

特記事項を除けば、CIBの平均有形株主資本利益率は8.4%(2015年度上半期:11.7%)でした。

コンシューマー、カード決済事業

損益計算書関連の情報	2016年	2015年	増減率
	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	
収益合計	2,345	1,577	49
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(377)	(344)	(10)
営業費用合計	(844)	(793)	(6)
税引前利益	1,143	468	

貸借対照表関連の情報	2016年	2015年	2015年
	6月30日現在 (億ポンド)	12月31日現在 (億ポンド)	6月30日現在 (億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	354	321	296
顧客預り金	469	418	384
リスク調整後資産	309	275	254

重要な数値	2016年	2015年
	6月30日に 終了した半期	6月30日に 終了した半期
30日以上延滞率-パークレイカード米国	2.2%	1.9%
パークレイカード顧客数合計	350,000	343,000
決済処理金額	1,410億ポンド	1,350億ポンド

パフォーマンス指標	2016年	2015年
	6月30日に 終了した半期	6月30日に 終了した半期
平均有形株主資本利益率	50.9%	20.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	35	30

特記事項を除けば、コンシューマー、カード&決済事業の平均有形株主資本利益率は24.9%(2015年度上半期:17.5%)でした。

パークレイズ・コーポレート&インターナショナル

- 税引前利益は 16%増加し、27 億 5,300 万ポンドとなりました。特記事項の影響を除いた基礎的税引前利益は 10%減少し、22 億 8,900 万ポンドとなりました。英ポンドに対する米ドルとユーロの平均レートの上昇を受けた基礎的営業費用合計の 43 億 900 万ポンドへの 4%の増加、構造改革プログラム実施およびリストラ費用、信用に関する減損費用の 5 億 900 万ポンドへの 33%の増加を反映しています。
- 基礎的収益合計は英ポンドに対する米ドルとユーロの平均レートの上昇の影響を含め、70 億 8,800 万ポンド(2015 年度上半期:70 億 6,000 万ポンド)と概ね横ばいでした。コンシューマー、カード&決済事業の収益は 19%増の 18 億 8,100 万ポンド、CIB の収益は 5%減の 52 億 700 万ポンドでした。
- 基礎的な収益に対する費用の比率は 61%(2015 年度上半期:59%)、基礎的 RoTE は 10.7%(2015 年度上半期 12.4%)でした。

コーポレート・アンド・インベストメント・バンク(CIB)

損益計算書 – 2016 年度上半期と 2015 年度上半期の比較

- 税引前利益は 16%減少し、16 億 1,000 万ポンドとなりました。特記事項の影響を除いた基礎的税引前利益は 25%減少し、16 億 1,000 万ポンドとなりました。厳しい株式市場環境での減収や信用に関する減損費用の 1 億 3,200 万ポンドへの増加(2015 年度上半期:4,100 万ポンド)に加え、リストラ費用および構造改革プログラム実施コストにより基礎的営業費用合計が増加したことが主因です。収益合計および営業費用合計も英ポンドに米ドルの対する平均レートの上昇による影響を受けています。
- 基礎的収益合計は 5%減少し、52 億 700 万ポンドとなりました。
 - マーケッツ業務の収益は 6%減少し、26 億 9,500 万ポンドとなりました。内訳は以下の通りです。
 - クレジットの収益は市場ボラティリティの上昇を受けてフィクストインカム・クレジット・フロー業務が好調に推移したことから 35%増加し、5 億 9,100 万ポンドとなりました。
 - 株式の収益はビジネス・モデルの簡素化を受けて 22%減少し、9 億 1,900 万ポンドとなりました。厳しい取引環境にもかかわらず、EMEA(欧州・中東・アフリカ)およびアジアの減収は米州の増収によって一部相殺され、リターンへの影響は軽微にとどまりました。
 - マクロの収益は 4%減少し、11 億 8,500 万ポンドとなりました。第 2 四半期のパフォーマンス改善により一部相殺されたものの、金利および為替商品を中心とした 2016 年度第 1 四半期の顧客取引活動の低下が主因です。
 - バンキング業務の収益は 5%減少し、25 億 900 万ポンドとなりました。内訳は以下の通りです。
 - バンキング手数料収入は 2%減少し、11 億 300 万ポンドとなりました。アドバイザリー手数料および債券引受手数料の増加により一部相殺されたものの、株式引受手数料の減少が主因です。
 - コーポレートの貸付収益は 10%減少し、6 億 800 万ポンドとなりました。残高の伸びにより一部相殺されたものの、利ざやの低下に加えて 2015 年度上半期に処理方法の変更による一過性の利益が認識されたことを反映しています。
 - トランザクション・バンキングの収益は 4%減少し、7 億 9,800 万ポンドとなりました。預金残高と決済件数の増加による収益で一部相殺されたものの、利ざやと金利の低下が主因です。
- 主として 2016 年度第 1 四半期における石油およびガス・セクターの顧客に関連するものを中心とした複数のシングルネームのエクスポージャーの減損に関連し、信用に関する減損費用 1 億 3,200 万ポンドを計上しました(2015 年度上半期:4,100 万ポンド)。
- 基礎的営業費用合計は 5%増加し、34 億 6,500 万ポンドとなりました。訴訟および特定行為に係る費用の減少により一部相殺されたものの、米ドルの英ポンドに対する平均レートの上昇およびリストラ費用と構造改革プログラム実施コストを反映しています。

貸借対照表 – 2016 年 6 月 30 日と 2015 年 12 月 31 日の比較

- 銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)は、主に当該期間の決済残高、現金担保および新規顧客活動の増加を受けて 432 億ポンド増加し、1,952 億ポンドとなりました。
- 主要先渡金利の低下および英ポンドに対する主要通貨の上昇を反映し、デリバティブ金融資産は 63%増の 1,812 億ポンド、デリバティブ金融負債は 57%増の 1,874 億ポンドとなりました。
- トレーディング・ポートフォリオ資産は顧客活動の増加を受けて 62 億ポンド増加し、681 億ポンドとなりました。
- 公正価値で測定すると指定された金融資産は 214 億ポンド増加し、682 億ポンドとなりました。公正価値で測定すると指定されたリバース・レポ取引の増加、マッチド・ブック・トレーディングの増加および企業の資金調達需要を主に反映しています。

事業部門別業績

- 資産合計は 29%増加し、6,259 億ポンドとなりました。デリバティブ金融資産、リバース・レポ取引、銀行および顧客に対する貸付金ならびにトレーディング・ポートフォリオ資産の増加が主因で、その他の資産の減少により一部相殺されました。
- 顧客預り金は、当該期間の決済残高、現金担保および新規顧客活動の増加を主因に 360 億ポンド増加し、1,797 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産はデリバティブ・エクスポージャーの公正価値の増加および英ポンドに対する米ドルの上昇を主に反映して 111 億ポンド増加し、1,784 億ポンドとなりました。

コンシューマー、カード&決済事業

損益計算書 – 2016 年度上半期と 2015 年度上半期の比較

- 税引前利益は 6 億 7,500 万ポンド増加し、11 億 4,300 万ポンドとなりました。特記事項の影響を除いた基礎的税引前利益は、銀行および顧客に対する貸付金が前年同期比 20%増加したことを受けて 65%増加し、6 億 7,900 万ポンドとなりました。
- ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益を含む収益合計は 49%増加し、23 億 4,500 万ポンドとなりました。パークレイカード米国およびドイツと加盟店獲得事業の持続的な伸びに加え、英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートの上昇を受けて基礎的収益合計は 19%増加し、18 億 8,100 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は残高の伸びと英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レートの上昇を主に反映して 10%増加し、3 億 7,700 万ポンドとなりました。
- 基礎的営業費用合計は英ポンドに対する米ドルおよびユーロの平均レート上昇の影響を含め、8 億 4,400 万ポンドと概ね横ばいで推移しました(2015 年度上半期:8 億 4,900 万ポンド)。

貸借対照表 – 2016 年 6 月 30 日と 2015 年 12 月 31 日の比較

- 銀行および顧客に対する貸付金は、ジェットブルーのクレジットカード・ポートフォリオの取得を含むパークレイカード米国の伸びを反映して 10%増加し、354 億ポンドとなりました。
- 顧客預り金はウェルス・インターナショナルおよびオフショア事業における残高の大幅な伸びを反映して 51 億ポンド増加し、469 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は米ドルおよびユーロの英ポンドに対する平均レートの上昇およびカード・ポートフォリオの取得を主因に 34 億ポンド増加し、309 億ポンドとなりました。

事業部門別業績

本社

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
収益合計	301	455	(34)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(1)	(1)	-
営業収益純額	300	454	(34)
営業費用	(121)	(98)	(23)
訴訟および特定行為	(18)	(7)	
営業費用合計	(139)	(105)	(32)
その他の費用純額	(27)	(94)	71
税引前利益	134	255	(47)
株主帰属利益	90	152	(41)

	2016年 6月30日現在 (億ポンド)	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
資産合計 ¹	877	594	622
リスク調整後資産 ¹	432	397	410

	2016年 6月30日に 終了した半期 (億ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (億ポンド)
パフォーマンス指標		
平均割当有形株主資本(億ポンド)	58	14

	(百万ポンド)	(百万ポンド)
特記事項		
当グループ自身の信用度に関連する利益	183	410
スペイン事業の売却に係る損失	-	(97)

¹ アフリカ・バンキングの売却目的資産560億ポンド(2015年12月:479億ポンド)およびリスク調整後資産361億ポンド(2015年12月:317億ポンド)が含まれています。

本社

損益計算書 – 2016年度上半期と2015年度上半期の比較

- 税引前利益は47%減少し、1億3,400万ポンドとなりました。特記事項の影響を除いた基礎的税引前損失は900万ポンド減少し、4,900万ポンドとなりました。
- 基礎的収益合計は2016年度第1四半期の劣後債の買い戻しに係る一過性の利益計上を主因に、1億1,800万ポンドに増加しました(2015年度上半期:4,500万ポンド)。
- 基礎的営業費用合計は訴訟和解費用および専門家報酬の増加を主因に3,400万ポンド増加し、1億3,900万ポンドとなりました。

貸借対照表 – 2016年6月30日と2015年12月31日の比較

- 資産合計は283億ポンド増加し、877億ポンドとなりました。2016年6月23日実施の英国国民投票に関連する不確実性に備えて流動性バッファの保有を増加したことを反映しています。
- リスク調整後資産は英ポンドに対する南アフリカ・ランドの上昇を主に反映して35億ポンド増加し、432億ポンドとなりました。

事業部門別業績

パークレイズ・ノンコア

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	増減率 (%)
損益計算書関連の情報			
利息収入純額	136	310	(56)
トレーディング収益純額	(953)	(184)	
手数料収入純額およびその他の収益	370	506	(27)
収益合計	(447)	632	
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(139)	(167)	17
保険金控除後の収益合計	(586)	465	
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(55)	(61)	10
営業収益純額	(641)	404	
営業費用	(857)	(945)	9
訴訟および特定行為	(93)	(132)	30
営業費用合計	(950)	(1,077)	12
その他の費用純額	(313)	(72)	
税引前損失	(1,904)	(745)	
株主帰属損失	(1,490)	(582)	

	2016年 6月30日現在 (億ポンド)	2015年 12月31日現在 (億ポンド)	2015年 6月30日現在 (億ポンド)
貸借対照表関連の情報			
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース) ¹	685	518	604
デリバティブ金融資産	2,628	2,137	2,239
デリバティブ金融負債	2,534	2,021	2,167
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	1	31	167
公正価値で測定すると指定された金融資産	154	214	221
資産合計	3,791	3,258	3,662
顧客預り金 ²	174	209	279
リスク調整後資産	467	543	686

	2016年 6月30日に 終了した半期	2015年 6月30日に 終了した半期
パフォーマンス指標		
平均割当有形株主資本(億ポンド)	85	118
期末割当有形株主資本(億ポンド)	78	101
貸倒率(ベース・ポイント)	15	17

	(百万ポンド)	(百万ポンド)
特記事項		
英国顧客への補償に係る引当金	-	(65)
スペイン事業の売却に係る損失	-	(21)

		増減率(%)
保険金控除後の収益の内訳		
事業部門	377	596 (37)
証券および貸付金	(765)	(68)
デリバティブ	(198)	(63)
保険金控除後の収益合計	(586)	465

1 2016年6月30日現在の貸付金は、顧客に対する貸付金524億ポンド(2015年12月:404億ポンド)(決済残高1億ポンド(2015年12月:3億ポンド)および現金担保288億ポンド(2015年12月:190億ポンド)を含む)、および銀行に対する貸付金161億ポンド(2015年12月:114億ポンド)(決済残高1億ポンド(2015年12月:ゼロポンド)および現金担保150億ポンド(2015年12月:101億ポンド)を含む)で構成されています。

2 2016年6月30日現在の顧客預り金には決済残高1億ポンド(2015年12月:2億ポンド)および現金担保145億ポンド(2015年12月:123億ポンド)が含まれています。

パークレイズ・ノンコア

損益計算書 – 2016 年度上半期と 2015 年度上半期の比較

- 税引前損失は 19 億 400 万ポンドに拡大しました(2015 年度上半期:7 億 4,500 万ポンド)。特記事項の影響を除いた基礎的税引前損失は 19 億 400 万ポンドに拡大しました(2015 年度上半期:6 億 5,900 万ポンド)。証券および貸付金、事業部門、デリバティブの資産圧縮の持続的な進展、フランスのリテール事業およびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業の評価に係る 3 億 7,200 万ポンドのその他の費用純額における減損計上、ならびに ESHLA ポートフォリオに係る公正価値評価損の増加を受けて収益が減少し、損失が拡大したことを反映しています。
- 保険金控除後の収益合計は 10 億 5,100 万ポンド減少し、5 億 8,600 万ポンドの費用純額となりました。
 - 事業部門の収益はパークレイズ・ウェルスの米州事業、英国担保付貸付事業、ならびにポルトガルのリテールおよび保険事業の売却完了に伴う減収の影響で 37%減少し、3 億 7,700 万ポンドとなりました。
 - 証券および貸付金の収益は 6 億 9,700 万ポンド減少し、7 億 6,500 万ポンドの費用純額となりました。ESHLA ポートフォリオに係る公正価値評価損 4 億 2,400 万ポンド(2015 年度上半期:1 億 7,500 万ポンド)、ESHLA ポートフォリオ貸付金の条件変更による一過性の損失 1 億 8,200 万ポンド、および 2015 年度第 1 四半期に計上した訴訟関連の 9,100 万ポンドの引当金戻入が当該期間に発生しなかったことが主な要因です。
 - デリバティブの収益は、ポートフォリオの積極的な圧縮と資金調達コストを反映して 1 億 3,500 万ポンド減少し、1 億 9,800 万ポンドの費用となりました。
- 信用に関する減損費用は欧州における債権回収の増加を受けて 10%改善し、5,500 万ポンドとなりました。
- 基礎的営業費用合計は、リストラ費用 1 億 8,000 万ポンドの増加によって部分的に相殺されたものの、一部の国での特定のインベストメント・バンキング業務からの撤退によるコスト削減効果ならびに複数の事業の売却完了を反映し、6%改善して 9 億 5,000 万ポンドとなりました。
- その他の費用純額 3 億 1,300 万ポンド(2015 年度上半期:7,200 万ポンド)にはフランスのリテール事業およびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業の評価に係る 3 億 7,200 万ポンドの減損が含まれています。

貸借対照表 – 2016 年 6 月 30 日と 2015 年 12 月 31 日の比較

- 銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)は 32%増加し、685 億ポンドとなりました。現金担保資産の増加に加え、LOBO への条件変更により ESHLA 貸付金 80 億ポンドが再分類され償却原価ベースで認識されるようになったことが反映されていますが、これはアジアのウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業の売却発表により同事業の資産が売却目的保有資産に再分類されたこと、および過去のインベストメント・バンク資産の圧縮・撤退によって一部相殺されました。
- デリバティブ金融資産は 23%増の 2,628 億ポンド、デリバティブ金融負債は 25%増の 2,534 億ポンドとなりました。デリバティブ・バック・ブックの持続的な圧縮により一部相殺されたものの、2015 年 12 月から 2016 年 6 月までの期間に主要 3 通貨(英ポンド、米ドル、ユーロ)のレートが反騰したことが主な要因です。
- 顧客預り金は受入担保の増加を受けて 35 億ポンド減少し、174 億ポンドとなりました。
- デリバティブ金融資産が 491 億ポンド増の 2,628 億ポンドとなったことを受けて、資産合計は 533 億ポンド増加し、3,791 億ポンドとなりました。デリバティブ金融負債は 513 億ポンド増の 2,534 億ポンドとなりました。
- デリバティブおよびトレーディング・ポートフォリオ資産に係る潜在的将来エクスポージャーの減少により、レバレッジ・エクスポージャーは 150 億ポンド減少し、1,340 億ポンドとなりました。
- リスク調整後資産は 76 億ポンド減少し、467 億ポンドとなりました。英ポンドに対する米ドルおよびユーロの上昇や、その他の不利な市場動向にもかかわらず、リスク調整後資産がデリバティブでは 30 億ポンド、証券および貸付金では 30 億ポンド、事業部門では 10 億ポンドそれぞれ減少したことが主因です。

アフリカ・バンキング-非継続事業

パークレイズは2016年3月1日、パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)に対する当グループの持分を売却する意向を発表しました。これは、必要とされる株主および規制当局の承認を得た上で、会計上および規制上の観点から非連結化が可能となる水準まで持分を売却することが目的です。2016年5月5日、パークレイズはBAGLに対する当グループの持分売却の第1回トランシェを実行し、BAGLの発行済株式資本の12.2%を売却しました。この売却の完了により、BAGLの発行済株式資本に対するパークレイズの保有比率は50.1%となりました。

アフリカ・バンキング事業は非継続業務としての開示要件を満たしています。このため当該事業の業績は、グループの損益計算書において、非継続業務に係る税引後利益と非支配持分の2項目で表示されています。提示される株価に基づき、売却コストの見積もりを差し引いたBAGLの公正価値が、取得に係るのれんを含むBAGLの純資産の簿価を下回った場合には、それにより生じるBAGLに対するパークレイズの持分に係る減損もこれらの表示科目上で認識されることとなります。

アフリカ・バンキング

損益計算書関連の情報	2016年	2015年	増減率 (%)
	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	
利息収入純額	982	1,011	(3)
手数料収入純額およびその他の収益	802	848	(5)
収益合計	1,784	1,859	(4)
保険契約に基づく保険金および給付金純額	(87)	(81)	(7)
保険金控除後の収益合計	1,697	1,778	(5)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(244)	(194)	(26)
営業収益純額	1,453	1,584	(8)
営業費用合計	(1,020)	(1,075)	5
その他の収益純額	2	3	(33)
税引前利益	435	512	(15)
税引後利益	311	358	(13)
株主帰属利益	156	193	(19)

貸借対照表関連の情報	2016年	2015年	2015年
	6月30日現在 (億ポンド)	12月31日現在 (億ポンド)	6月30日現在 (億ポンド)
資産合計	560	479	522
リスク調整後資産	361	317	344

重要な数値	2016年	2015年
	6月30日に 終了した半期	6月30日に 終了した半期
期末日 - 南アフリカ・ランド/英ポンド	19.63	19.12
6ヶ月平均 - 南アフリカ・ランド/英ポンド ¹	22.17	18.16
パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド株価(南アフリカ・ランド)	144.08	182.98
パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド株式数(百万株)	848	848

1 平均レートは当該年度の日々のスポット・レートに基づいています。

四半期業績の要約

パークレイズ・グループ 損益計算書関連の情報	2016年度	2016年度	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期
	(百万ポンド)							
保険金控除後の収益合計	5,972	5,041	4,448	5,481	6,461	5,650	4,097	5,987
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(488)	(443)	(554)	(429)	(393)	(386)	(495)	(435)
営業収益純額	5,484	4,598	3,894	5,052	6,068	5,264	3,602	5,552
営業費用	(3,425)	(3,747)	(3,547)	(3,552)	(3,557)	(3,067)	(3,696)	(3,653)
英国銀行税	-	-	(426)	-	-	-	(418)	-
訴訟および特定行為	(447)	(78)	(1,722)	(699)	(927)	(1,039)	(1,089)	(607)
営業費用合計	(3,872)	(3,825)	(5,695)	(4,251)	(4,484)	(4,106)	(5,203)	(4,260)
その他の(費用)/収益純額	(342)	20	(274)	(182)	(39)	(101)	(82)	(336)
税引前利益/(損失)	1,270	793	(2,075)	619	1,545	1,057	(1,683)	956
税金(費用)/還付	(467)	(248)	(164)	(133)	(324)	(528)	134	(507)
継続事業に係る税引後利益/(損失)	803	545	(2,239)	486	1,221	529	(1,549)	449
非継続事業に係る税引後利益	145	166	101	167	162	196	168	171
以下に帰属するもの:								
親会社の普通株主	677	433	(2,422)	417	1,146	465	(1,679)	379
その他の株主	104	104	107	79	79	80	80	80
非支配持分	167	174	177	157	158	180	218	161
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)							
資産合計	13,513	12,489	11,200	12,365	11,967	14,164	13,579	13,657
リスク調整後資産	3,663	3,630	3,584	3,819	3,767	3,959	4,019	4,129
レバレッジ・エクスポージャー	11,554	10,820	10,278	11,407	11,393	12,547	12,334	13,239
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	5.8%	3.8%	(20.1%)	3.6%	9.8%	4.0%	(13.8%)	3.4%
平均有形株主資本(億ポンド)	483	483	478	476	472	481	483	468
収益に対する費用の比率	65%	76%	128%	78%	69%	73%	127%	71%
貸倒率(ベース・ポイント)	41	40	53	37	35	32	45	39
基本的1株当たり利益/(損失)	4.2ペンス	2.7ペンス	(14.4ペンス)	2.6ペンス	7.0ペンス	2.9ペンス	(10.2ペンス)	2.4ペンス
特記事項								
	(百万ポンド)							
当グループ自身の信用度に関連する利益	292	(109)	(175)	195	282	128	(62)	44
ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	615	-	-	-	-	-	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	-	-	-	496	-	-	461
ESHLAの評価方法の修正	-	-	-	-	-	-	(935)	-
英国顧客への補償に係る引当金	(400)	-	(1,450)	(290)	(850)	(182)	(200)	(10)
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	-	(167)	(270)	-	(800)	(750)	(500)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	-	-	-	-	429	-	-
売却事業に係るのれんおよびその他資産の減損	-	-	(96)	-	-	-	-	-
スペイン、ポルトガルおよびイタリア事業の売却に係る損失	-	-	(261)	(201)	-	(118)	(82)	(364)

特記事項を除けば、2016年度第2四半期の平均有形株主資本利益率は2.5%(2015年度第2四半期:9.1%)、基本的1株当たり利益は1.8ペンス(2015年度第2四半期:6.5ペンス)でした。

四半期業績の要約

パークレイズ・コア	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
損益計算書関連の情報	(百万ポンド)							
保険金控除後の収益合計	6,316	5,283	4,516	5,265	6,219	5,428	4,791	5,368
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(462)	(414)	(522)	(388)	(373)	(345)	(481)	(393)
営業収益純額	5,854	4,869	3,994	4,877	5,846	5,083	4,310	4,975
営業費用	(3,057)	(3,258)	(2,992)	(3,094)	(3,061)	(2,618)	(3,076)	(3,000)
英国銀行税	-	-	(338)	-	-	-	(316)	-
訴訟および特定行為	(420)	(12)	(1,634)	(419)	(819)	(1,015)	(1,004)	(507)
営業費用合計	(3,477)	(3,270)	(4,964)	(3,513)	(3,880)	(3,633)	(4,396)	(3,507)
その他の(費用)/収益純額	(18)	9	(5)	13	14	(83)	6	322
税引前利益/(損失)	2,359	1,608	(975)	1,377	1,980	1,367	(80)	1,790
税金費用	(696)	(485)	(92)	(299)	(474)	(614)	(172)	(564)
税引後利益/(損失)	1,663	1,123	(1,067)	1,078	1,506	753	(253)	1,226
非支配持分	(80)	(84)	(81)	(54)	(64)	(68)	(100)	(48)
その他の株主	(89)	(89)	(92)	(63)	(61)	(65)	(64)	(61)
株主帰属利益/(損失)	1,494	950	(1,240)	961	1,381	620	(417)	1,117
貸借対照表関連の情報	(億ポンド)							
資産合計	9,722	8,836	7,942	8,620	8,305	9,194	8,555	8,679
リスク調整後資産	3,196	3,122	3,041	3,163	3,081	3,180	3,128	3,188
パフォーマンス指標								
平均有形株主資本利益率	15.0%	9.9%	(12.8%)	10.4%	15.5%	7.1%	(4.8%)	14.1%
平均有形株主資本(億ポンド)	404	393	381	375	359	356	340	322
収益に対する費用の比率	55%	62%	110%	67%	62%	67%	92%	65%
貸倒率(ベース・ポイント)	45	42	57	39	38	35	52	41
基本的1株当たり利益/(損失)	9.0ペンス	5.8ペンス	(7.3ペンス)	5.8ペンス	8.4ペンス	3.8ペンス	(2.5ペンス)	6.9ペンス
特記事項	(百万ポンド)							
当グループ自身の信用度に関連する利益	292	(109)	(175)	195	282	128	(62)	44
ピザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	615	-	-	-	-	-	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	-	-	-	496	-	-	461
英国顧客への補償に係る引当金	(400)	-	(1,392)	(290)	(800)	(167)	(199)	8
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	-	(167)	(69)	-	(800)	(750)	(500)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	-	-	-	-	429	-	-
スペイン、ポルトガルおよびイタリア事業の売却に係る損失	-	-	(15)	-	-	(97)	-	315

特記事項を除けば、コア部門の2016年度第2四半期の平均有形株主資本利益率は11.0%(2015年度第2四半期:14.0%)、基本的1株当たり利益は6.6ペンス(2015年度第2四半期:7.7ペンス)でした。

四半期業績の要約

パークレイズ・ノンコア 損益計算書関連の情報	2016年度	2016年度	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
事業部門	181	196	229	314	292	304	361	379
証券および貸付金	(363)	(402)	(195)	(87)	-	(68)	(1,021)	275
デリバティブ	(162)	(36)	(102)	(12)	(49)	(14)	(35)	(35)
保険金控除後の収益合計	(344)	(242)	(68)	215	243	222	(695)	619
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(26)	(29)	(32)	(41)	(20)	(41)	(13)	(42)
営業(費用)/収益純額	(370)	(271)	(100)	174	223	181	(708)	577
営業費用	(368)	(489)	(555)	(458)	(496)	(449)	(618)	(654)
英国銀行税	-	-	(88)	-	-	-	(102)	-
訴訟および特定行為	(27)	(66)	(89)	(279)	(108)	(24)	(85)	(100)
営業費用合計	(395)	(555)	(732)	(737)	(604)	(473)	(805)	(754)
その他の(費用)/収益純額	(324)	11	(268)	(195)	(54)	(18)	(90)	(657)
税引前損失	(1,089)	(815)	(1,100)	(758)	(435)	(310)	(1,603)	(834)
税金還付/(費用)	229	237	(72)	166	150	86	306	57
税引後損失	(860)	(578)	(1,172)	(592)	(285)	(224)	(1,297)	(777)
非支配持分	(12)	(10)	(19)	(21)	(21)	(20)	(33)	(25)
その他の株主	(15)	(15)	(17)	(15)	(18)	(14)	(17)	(17)
株主帰属損失	(887)	(603)	(1,208)	(628)	(324)	(258)	(1,347)	(819)
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	685	554	518	571	604	731	707	724
デリバティブ金融資産	2,628	2,497	2,137	2,433	2,239	3,056	2,889	2,526
デリバティブ金融負債	2,534	2,391	2,021	2,350	2,167	2,996	2,806	2,432
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	1	7	31	85	167	437	507	753
公正価値で測定すると指定された金融資産	154	234	214	228	221	250	255	273
資産合計	3,791	3,654	3,258	3,745	3,662	4,970	5,024	4,978
顧客預り金	174	193	209	258	279	299	308	322
リスク調整後資産	467	509	543	656	686	779	891	941
パフォーマンス指標								
平均割当有形株主資本(億ポンド)	79	90	97	102	113	124	143	147
期末割当有形株主資本(億ポンド)	78	85	85	102	101	117	131	141
貸倒率(ベース・ポイント)	14	21	25	27	13	17	10	27
基本的1株当たり損失への寄与	(5.2ペンス)	(3.6ペンス)	(7.2ペンス)	(3.7ペンス)	(1.9ペンス)	(1.5ペンス)	(8.2ペンス)	(5.0ペンス)
特記事項								
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
ESHLAの評価方法の修正	-	-	-	-	-	-	(935)	-
英国顧客への補償に係る引当金	-	-	(58)	-	(50)	(15)	(1)	(18)
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	-	-	(201)	-	-	-	-
売却事業に係るのれんおよびその他資産の減損	-	-	(96)	-	-	-	-	-
スペイン、ポルトガルおよびイタリア事業の売却に係る損失	-	-	(246)	(201)	-	(21)	(82)	(679)

特記事項を除けば、ノンコア部門の2016年度第2四半期の基本的1株当たり損失は5.2ペンス(2015年度第2四半期:1.7ペンス)でした。

コア事業部門別四半期業績

パークレイズ UK

	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
	(百万ポンド)							
損益計算書関連の情報								
収益合計	1,943	1,803	1,834	1,874	1,804	1,831	1,882	1,898
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(220)	(146)	(219)	(154)	(166)	(167)	(264)	(217)
営業収益純額	1,723	1,657	1,615	1,720	1,638	1,664	1,618	1,681
営業費用	(947)	(952)	(920)	(925)	(970)	(649)	(1,041)	(1,048)
英国銀行税	-	-	(77)	-	-	-	(59)	-
訴訟および特定行為	(399)	(1)	(1,466)	(76)	(801)	(168)	(211)	(32)
営業費用合計	(1,346)	(953)	(2,463)	(1,001)	(1,771)	(817)	(1,311)	(1,080)
その他の(費用)/収益純額	(1)	-	1	1	1	(3)	(3)	(1)
税引前利益/(損失)	376	704	(847)	720	(132)	844	304	600
株主帰属利益/(損失)	141	467	(1,078)	541	(174)	664	208	442

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)							
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	1,660	1,662	1,661	1,667	1,661	1,660	1,653	1,643
資産合計	2,046	2,017	2,025	2,041	2,022	1,996	1,980	1,909
顧客預り金	1,817	1,791	1,768	1,734	1,716	1,687	1,683	1,659
リスク調整後資産	671	697	695	710	717	723	693	713

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	6.6%	20.5%	(46.5%)	23.3%	(7.3%)	28.3%	9.3%	19.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	90	93	92	93	94	94	92	92
収益に対する費用の比率	69%	53%	134%	53%	98%	45%	70%	57%
貸倒率(ベース・ポイント)	52	34	51	36	40	40	62	51

特記事項

	(百万ポンド)							
ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	151	-	-	-	-	-	-	-
英国顧客への補償に係る引当金	(400)	-	(1,391)	(73)	(800)	(167)	(199)	(24)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	-	-	-	-	296	-	-

特記事項を除けば、パークレイズ UK の 2016 年度第 2 四半期の平均有形株主資本利益率は 18.4%(2015 年度第 2 四半期: 19.9%) でした。

パークレイズ UK の内訳

	(百万ポンド)							
損益計算書関連の情報								
パーソナル・バンキング	1,068	919	945	938	905	927	955	968
パークレイカード・コンシューマーUK	463	491	505	552	503	505	518	530
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	412	393	384	384	396	399	409	400
収益合計	1,943	1,803	1,834	1,874	1,804	1,831	1,882	1,898

信用に関する減損費用およびその他の引当金

	(百万ポンド)							
繰入額の内訳								
パーソナル・バンキング	(44)	(42)	(39)	(36)	(50)	(69)	(57)	(57)
パークレイカード・コンシューマーUK	(169)	(105)	(176)	(111)	(106)	(95)	(185)	(139)
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	(7)	1	(4)	(7)	(10)	(3)	(22)	(21)
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額合計	(220)	(146)	(219)	(154)	(166)	(167)	(264)	(217)

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)の内訳

	(億ポンド)							
パーソナル・バンキング	1,347	1,347	1,340	1,345	1,344	1,343	1,338	1,333
パークレイカード・コンシューマーUK	162	160	162	159	158	157	158	155
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	151	155	159	163	159	160	157	155
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)合計	1,660	1,662	1,661	1,667	1,661	1,660	1,653	1,643

顧客預り金内訳

	(億ポンド)							
パーソナル・バンキング	1,348	1,329	1,310	1,284	1,267	1,234	1,245	1,222
パークレイカード・コンシューマーUK	-	-	-	-	-	-	-	-
ウェルス、アントレプレナー&ビジネス・バンキング	469	462	458	450	449	453	438	437
顧客預り金合計	1,817	1,791	1,768	1,734	1,716	1,687	1,683	1,659

コア事業部門別四半期業績

パークレイズ・コーポレート&インターナショナル

損益計算書関連の情報	2016年度	2016年度	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期
	(百万ポンド)							
収益合計	4,039	3,513	2,968	3,223	4,102	3,454	2,945	3,370
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(240)	(269)	(303)	(235)	(206)	(178)	(217)	(176)
営業収益純額	3,799	3,244	2,665	2,988	3,896	3,276	2,728	3,194
営業費用	(2,074)	(2,221)	(2,007)	(2,059)	(2,027)	(1,936)	(2,014)	(1,943)
英国銀行税	-	-	(253)	-	-	-	(248)	-
訴訟および特定行為	(10)	(4)	(151)	(302)	(12)	(845)	(786)	(470)
営業費用合計	(2,084)	(2,225)	(2,411)	(2,361)	(2,039)	(2,781)	(3,048)	(2,413)
その他の収益純額	11	8	8	9	13	15	7	9
税引前利益 / (損失)	1,726	1,027	262	636	1,870	510	(313)	790
株主帰属利益 / (損失)	1,171	575	(24)	422	1,376	(16)	(673)	449

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)							
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	2,306	2,159	1,841	2,203	2,105	2,247	1,936	2,065
トレーディング・ポートフォリオ資産	681	643	619	728	753	927	873	915
デリバティブ金融資産	1,814	1,501	1,115	1,337	1,160	1,728	1,496	1,287
デリバティブ金融負債	1,875	1,554	1,190	1,420	1,248	1,823	1,573	1,346
リバース・レボ取引およびその他類似の担保付貸付	197	191	247	680	574	571	629	815
公正価値で測定すると指定された金融資産	683	596	468	56	56	52	57	109
資産合計	6,799	6,184	5,322	5,961	5,661	6,562	5,965	6,085
顧客預り金	2,265	2,131	1,856	2,070	1,977	2,062	1,882	2,050
リスク調整後資産	2,093	2,022	1,948	2,040	1,954	2,026	2,017	2,059

パフォーマンス指標

平均有形株主資本利益率	19.2%	9.5%	(2%)	7.0%	22.5%	(1%)	(10.4%)	7.4%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	248	251	249	247	247	253	256	246
収益に対する費用の比率	52%	63%	81%	73%	50%	81%	103%	72%
貸倒率(ベース・ポイント)	41	50	65	42	38	32	44	34

特記事項

	(百万ポンド)							
ビザ・ヨーロッパ・リミテッドに対するパークレイズの持分売却による利益	464	-	-	-	-	-	-	-
米国リーマン買収資産に係る利益	-	-	-	-	496	-	-	461
英国顧客への補償に係る引当金	-	-	-	(218)	-	-	-	32
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	-	(145)	(39)	-	(800)	(750)	(500)
確定退職給付負債の一部に係る評価益	-	-	-	-	-	133	-	-

特記事項を除けば、パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの2016年度第2四半期の平均有形株主資本利益率は11.9%(2015年度第2四半期:13.9%)でした。

コア事業部門別四半期業績

パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの内訳

コーポレート・アンド・インベストメント・ バンク(CIB)

損益計算書関連の情報

	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
	(百万ポンド)							
収益合計の内訳								
クレジット	269	322	195	191	218	220	117	189
株式	406	513	319	416	588	589	418	370
マクロ	612	573	382	487	582	657	436	472
マーケッツ	1,287	1,408	896	1,094	1,388	1,466	971	1,031
バンキング手数料	622	481	458	501	580	548	529	420
コーポレート貸付	312	296	312	377	387	285	334	334
トランザクション・バンキング	390	408	415	419	416	413	404	420
バンキング	1,324	1,185	1,185	1,297	1,383	1,246	1,267	1,174
その他	-	3	16	(17)	495	1	(4)	460
収益合計	2,611	2,596	2,097	2,374	3,266	2,713	2,234	2,665
信用に関する減損(費用)/戻入およびその他の引当金繰入額	(37)	(95)	(83)	(75)	(42)	1	(26)	(24)
営業費用合計	(1,665)	(1,800)	(1,962)	(1,940)	(1,605)	(2,422)	(2,614)	(2,036)
税引前利益/(損失)	909	701	52	358	1,620	292	(408)	606

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)							
リスク調整後資産	1,784	1,726	1,673	1,774	1,700	1,771	1,752	1,805

パフォーマンス指標

	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
平均有形株主資本利益率	9.5%	7.3%	(2.5%)	4.5%	22.3%	(2.5%)	(12.8%)	6.1%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	213	216	218	217	217	223	225	216

特記事項を除けば、CIBの2016年度第2四半期の平均有形株主資本利益率は9.5%(2015年度第2四半期:12.6%)でした。

コンシューマー、カード&決済事業

損益計算書関連の情報

	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	1,428	917	871	849	836	741	711	705
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(203)	(174)	(219)	(160)	(165)	(179)	(190)	(153)
営業費用合計	(419)	(425)	(449)	(421)	(434)	(359)	(434)	(377)
税引前利益	817	326	210	278	250	218	93	185

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)							
銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	354	329	321	306	296	298	297	284
顧客預り金	469	442	418	398	384	401	379	371
リスク調整後資産	309	296	275	266	254	255	266	254

パフォーマンス指標

	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
平均有形株主資本利益率	77.9%	23.4%	15.3%	24.7%	23.4%	17.5%	6.6%	17.3%
平均割当有形株主資本(億ポンド)	35	34	32	31	30	30	31	30

特記事項を除けば、コンシューマー、カード&決済事業の2016年度第2四半期の平均有形株主資本利益率は26.3%(2015年度第2四半期:23.4%)でした。

コア事業部門別四半期業績

本社

損益計算書関連の情報	2016年度	2016年度	2015年度	2015年度	2015年度	2015年度	2014年度	2014年度
	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
収益合計	334	(33)	(285)	169	312	142	(36)	100
信用に関する減損(費用) / 戻入およびその他の引当金繰入額	(2)	1	-	1	(1)	-	-	-
営業収益 / (費用) 純額	332	(32)	(285)	170	311	142	(36)	100
営業費用	(36)	(85)	(64)	(110)	(64)	(34)	(21)	(10)
英国銀行税	-	-	(8)	-	-	-	(9)	-
訴訟および特定行為	(11)	(7)	(17)	(42)	(6)	(1)	(7)	(4)
営業費用合計	(47)	(92)	(89)	(152)	(70)	(35)	(37)	(14)
その他の(費用) / 収益純額	(28)	1	(14)	2	1	(95)	3	314
税引前利益 / (損失)	257	(123)	(388)	20	242	12	(70)	400
株主帰属(損失) / 利益	182	(92)	(140)	(1)	180	(28)	47	226

貸借対照表関連の情報

	(億ポンド)							
資産合計 ¹	877	634	594	618	622	636	610	685
リスク調整後資産 ¹	432	403	397	413	410	431	418	416

パフォーマンス指標

平均割当有形株主資本(億ポンド) ¹	66	50	39	34	18	9	(8)	(18)
-------------------------------	----	----	----	----	----	---	-----	------

特記事項

	(百万ポンド)							
当グループ自身の信用度に関連する利益	292	(109)	(175)	195	282	128	(62)	44
外国為替に関連するものを含めた進行中の調査および訴訟に係る引当金	-	-	(23)	(29)	-	-	-	-
スペイン、ポルトガルおよびイタリア事業の売却に係る損失	-	-	(15)	-	-	(97)	-	315

¹ アフリカ・バンキングの売却目的資産およびリスク調整後資産を含んでいます。

アフリカ・バンキング四半期業績 非継続事業

アフリカ・バンキング

	2016年度 第2四半期	2016年度 第1四半期	2015年度 第4四半期	2015年度 第3四半期	2015年度 第2四半期	2015年度 第1四半期	2014年度 第4四半期	2014年度 第3四半期
	(百万ポンド)							
損益計算書関連の情報								
保険金控除後の収益合計	879	818	814	822	870	908	925	895
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(133)	(111)	(93)	(66)	(103)	(91)	(79)	(74)
営業収益純額	746	707	721	756	767	817	846	821
営業費用	(543)	(477)	(501)	(515)	(536)	(539)	(585)	(557)
英国銀行税	-	-	(50)	-	-	-	(44)	-
訴訟および特定行為	-	-	-	-	-	-	(1)	(1)
営業費用合計	(543)	(477)	(551)	(515)	(536)	(539)	(630)	(558)
その他の収益純額	1	1	3	1	1	2	2	1
税引前利益	204	231	173	242	232	280	218	264
税引後利益	145	166	101	168	161	196	167	171
株主帰属利益	70	86	25	85	88	104	85	82
貸借対照表関連の情報								
	(億ポンド)							
資産合計	560	527	479	502	522	559	537	529
リスク調整後資産	361	339	317	338	344	373	367	362

利ざやおよび残高

	2016年6月30日に終了した半期			2015年6月30日に終了した半期		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パークレイズ UK	2,977	166,944	3.59	2,965	167,527	3.57
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	1,974	83,402	4.76	1,811	80,778	4.52
パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナル合計	4,951	250,346	3.98	4,776	248,305	3.88
その他 ²	267			414		
利息収入純額合計	5,218			5,190		

1 インベストメント・バンキングに関連する残高を含みません。

2 その他にはインベストメント・バンキングに関連する残高、本社およびパークレイズ・ノンコアが含まれています。

- パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの利息収入純額合計は以下の要因を反映し、4%増加して49億5,100万ポンドとなりました。
 - パークレイズ・コーポレート&インターナショナルの伸びを受け、平均顧客資産は2,503億ポンド(2015年:2,483億ポンド)に増加しました。
 - 純利ざやはパークレイカード米国の利付貸付金の伸びを主因に10ベース・ポイント上昇して3.98%となりました。パークレイズ UK はパーソナル・バンキング預金の利ざや上昇が貸付利ざやの低下によって一部相殺され、横ばいで推移しました。構造的ヘッジの正味寄与7億ポンド(2015年:7億ポンド)を含むグループの利息収入純額は52億ポンド(2015年:52億ポンド)で横ばいでした。
- 事業部門別の純利ざやは、当グループがホールセール市場から代替資金調達を行う際の費用をベースとしたグループ全体の内部調達レートの変動を反映しています。内部調達レートは純額ベースで余剰流動性を有している事業部門に適切にクレジットを与え、代替資金調達が必要な事業部門に実勢市場金利に期間プレミアムを含めたレートでチャージするため、グループ内の資金調達や流動性に価格を設定します。

パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの四半期分析

	2016年6月30日に終了した3ヶ月間		
	利息収入純額 (百万ポンド)	平均顧客資産 (百万ポンド)	純利ざや %
パークレイズ UK	1,476	166,691	3.56
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	1,000	84,628	4.75
パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの合計	2,476	251,319	3.96
2016年3月31日に終了した3ヶ月間			
パークレイズ UK	1,501	166,727	3.62
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	974	85,010	4.61
パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの合計	2,475	251,737	3.95
2015年12月31日に終了した3ヶ月間			
パークレイズ UK	1,509	167,405	3.58
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	965	83,342	4.59
パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの合計	2,474	250,747	3.91
2015年9月30日に終了した3ヶ月間			
パークレイズ UK	1,499	167,936	3.54
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	947	81,311	4.62
パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルの合計	2,446	249,247	3.89

1 インベストメント・バンキングに関連する残高を含みません。

リスク管理および主要リスク

パークレイズのリスク管理に対する責任は全社リスク管理フレームワーク(ERMF)において説明されています。ERMFは当グループの最も重大なリスク・エクスポージャーが合意されたリスク選好度に従って理解・管理され、リスク・エクスポージャーと内部統制の運用状況の有効性の両方が定期的に報告されることを目的として責任の所在と説明責任を明確化しています。ERMFには銀行全体を対象とした具体的な内部統制の枠組みの構築に十分に値する、パークレイズに発生する予測可能で継続的かつ重大なリスクが含まれています。これらはキーリスクと位置付けられ、信用リスク、市場リスク、資金調達リスク、オペレーショナル・リスク、コンダクト・リスクの5つの主要リスクに分類されています。これらのリスクの詳細ならびに管理手法については2015年度年次報告書、またはウェブサイト(home.barclays/annualreport)をご覧ください。以下に説明するリスク以外に、当期間において、キーリスク、リスク管理または主要な不確実性に関するその他の重大な変更はなく、2016年度の残りの6ヶ月間においても同様と予想されています。

英国は2016年6月23日、欧州連合(EU)からの離脱の是非を問う国民投票を実施し、離脱を決定しました。国民投票の結果は、英国のEUとの長期的な関係性が不透明で、EUとの合意の内容やタイミングに不確実性が存在することを意味します。その間、英国とEU双方に不確実性のリスクが生じ、英国経済およびパークレイズが業務を行う他の国々の経済にマイナス影響が及ぶ可能性があります。EU離脱に伴う潜在的リスクは2016年度上半期の取締役会で注意深く検討され、これに関連する適切な対応がとられました。パークレイズにとっての潜在的リスクは以下の通りです。

- 市場リスク
 - 政治的な不安定により市場ボラティリティー(特に為替および金利)が継続して高い場合は、トレーディング勘定ポジションの公正価値、銀行勘定における金利リスク、および流動性の目的でパークレイズが保有する証券の公正価値に影響を及ぼす可能性がある。また、英国金利の長期的見通しの変化は、国際会計基準第19号に基づく英国の年金債務にマイナスの影響を及ぼす可能性がある。
- 信用リスク
 - 英国が成長鈍化、失業率上昇、英国住宅価格下落を伴う景気後退に直面するリスクが増大する。こうした状況では、モーゲージ貸付のLTVが上昇したり、英国の無担保および商業用不動産エクスポージャーなどのパークレイズの複数のポートフォリオにマイナスの影響が及ぶ可能性が高い。
- オペレーショナル・リスク
 - 現在のEU「パスポート」権の変化: EU離脱の結果、英国は国境を超えた市場アクセス権を失う可能性がある。その場合、パークレイズは業務を継続するEUの管轄地域において代替ライセンス契約の締結を求められることになる。
 - 英国がEU法令に依拠している現行法の変更の進捗を伴い、パークレイズが業務を行う地域の法的枠組みが変わる可能性がある。
 - EUの移動の自由に対する英国の将来的なアプローチを巡る不確実性は、パークレイズのEU域内の人材へのアクセス、EU域内からの重要役職者の採用の決定、ならびに現在のパークレイズの英国居住の非英国EU市民およびEU居住の英国市民の従業員の労働権に影響を及ぼす。
- 資金調達リスク
 - 信用スプレッドの拡大および銀行債に対する投資家の投資意欲後退により、資金調達のコストおよび/またはアクセスにマイナスの影響が及ぶ可能性がある。

以下のセクションは、当期間における「資金調達リスク – 流動性」、「資金調達リスク – 資本」、「信用リスクおよび市場リスク」の動向の概要です。

資金調達リスク – 流動性

資金調達および流動性

当グループは流動性リスクを管理するための包括的なフレームワークを備えています。パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別個に管理されています。本セクションのすべての開示情報は下表の流動性ストレス・テストを除いて BAGL を除外しており、BAGL については独立項目として報告がなされています。内部基準および規制に則ったストレス・テストについては、BAGL は当グループに含まれています。

流動性ストレス・テスト

内部基準および規制に則ったストレス・テストの遵守

	パークレイズの流動性 リスク選好度(LRA) (30日間のパークレイズの 固有シナリオの必要額) ^{1,2} (億ポンド)	CRDIVの暫定基準によ る流動性カバレッジ 比率(LCR) ² (億ポンド)
適格流動性バッファー	1,544	1,510
ストレス時の資金流出純額	1,395	1,217
余剰流動性	149	293
2016年6月30日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	111%	124%
2015年12月31日現在の想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	131%	133%

1 LRAの一環としてモニターされている3つのストレス・シナリオのうち、30日間のパークレイズ固有シナリオの下での比率は最も低い111%(2015年:131%)となります。これに対し90日間の市場全体シナリオの下での比率は122%(2015年:144%)、30日間の複合シナリオの下での比率は126%(2015年:133%)となります。

2 パークレイズ・アフリカの非継続事業を含みます。

パークレイズは、内部で設定した流動性リスク選好度(LRA)および改正資本要件指令(CRD IV)の暫定基準による流動性カバレッジ比率(LCR)などの規制上の指標に対する当グループの流動性ポジションを管理しています。2016年6月30日現在、当グループは30日間のパークレイズの固有シナリオのLRAとLCRの両方について、ストレス時の資金流出純額の100%を大幅に上回る適格流動性資産を保有しています。

2016年6月30日現在のLRAバッファー・デューレーションは71日と観測されました。

パークレイズは2014年10月にバーゼル銀行監督委員会(BCBS)が公表した安定調達比率(NSFR)に関する最終的な指針に基づいて、NSFRを106%(2015年:106%)と見積りました。

資金調達リスク – 流動性

グループ余剰流動性の構成

	余剰流動性 2016年 6月30日現在	余剰流動性のうちCRDIVの暫定基準による LCR適格分			余剰流動性 2015年 12月31日現在
	(億ポンド)	現金 (億ポンド)	レベル1 (億ポンド)	レベル2A (億ポンド)	(億ポンド)
2016年6月30日現在					
現金および中央銀行預け金 ¹	770	740	-	-	480
国債					
格付AAA	360	-	360	-	630
格付AA+からAA-	80	-	80	-	110
その他の国債	20	-	20	-	10
国債合計	460	-	460	-	750
その他					
国際機関債および国際開発銀行	120	-	90	30	70
政府機関および政府機関モーゲージ・バック証券	70	-	70	-	80
カバード・ボンド(格付AA-以上)	30	-	20	10	40
その他	40	-	-	-	30
その他合計	260	-	180	40	220
2016年6月30日現在合計	1,490	740	640	40	
2015年12月31日現在合計	1,450	450	870	80	

¹ そのうち97%超(2015年:97%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。余剰流動性は担保権が設定されておらず、支払や決済の必要額に対する裏付けとして使用されるものではありません。2016年6月30日現在、余剰流動性の92%(2015年:94%)はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在し、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残りの余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク(BCI)内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は、主として各事業体固有のストレス時の資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

預金による調達

顧客向け貸付金の調達	2016年6月30日現在			2015年 12月31日現在
	顧客向け貸付金 (億ポンド)	顧客預り金 (億ポンド)	預貸率 %	預貸率 %
パークレイズ UK	1,660	1,820		
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル ¹	950	1,460		
ノン・コア ¹	200	20		
パークレイズ UK、パークレイズ・コーポレート&インターナショナルおよびノン・コアの資金調達合計¹	2,810	3,300	85%	86%
インベストメント・バンク、コアおよびノン・コア	1,440	1,090		
合計	4,250	4,390	97%	95%

¹ インベストメント・バンキング事業関連の残高を除いています。

パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナル(インベストメント・バンクを除く)は概ね顧客預り金によって資金調達しています。

グループ全体の預貸率は97%(2015年:95%)でした。

資金調達リスク – 流動性

ホールセール調達

2016年6月30日現在のその他資産の資金調達

資産	(億ポンド)	負債	(億ポンド)
トレーディング・ポートフォリオ資産	390	レポ取引	1,000
リバース・レポ取引	600		
リバース・レポ取引	330	トレーディング・ポートフォリオ負債	330
デリバティブ	4,450	デリバティブ	4,420
余剰流動性 ¹	960	1年未満で満期が到来するホールセール負債	700
その他無担保資産 ²	1,210	1年以上で満期が到来するホールセール負債および資本	1,500

- トレーディング・ポートフォリオ資産は大部分がレポ取引によって資金調達されており、54%(2015年:57%)は非常に流動性の高い債券資産によって担保されています³。比較的流動性の低い資産によって担保されているレポ取引の加重平均満期は94日(2015年:77日)でした。
- リバース・レポ取引の大半はレポ取引と見合っています。2016年6月30日現在、見合っている取引のうち41%(2015年:55%)が非常に流動性の高い債券資産によって担保されています³。残りのリバース・レポ取引はトレーディング・ポートフォリオ負債の決済のために利用されています。
- デリバティブ資産と負債はほぼ見合っています。貸借対照表上のデリバティブ・ポジションの大部分はカウンターパーティ・ネットティング要件を満たしており、残りの部分は現金担保の受入および支払とネットティングされればほぼ相殺されます。
- 当グループの余剰流動性は主にホールセール負債によって資金調達されており、残りは顧客預り金によって調達されています。その他の資産は概ねターム・ホールセール負債および資本と見合っています。

¹ 余剰流動性のうち、ホールセール資金によって調達されていると見積もられている部分です。

² ほとんどが売却可能投資、トレーディング・ポートフォリオ資産、公正価値で測定すると指定された金融資産および銀行に対する貸付金です。

³ 非常に流動性の高い債券は、極めて高格付けの国債および政府機関債と定義され、通常は格付 AA+以上です。これには流動性のある債券、株式および比較的流動性の低い担保は除外されます。

資金調達リスク – 流動性

ホールセール調達の構成¹

シングル・ポイント・オブ・エントリー (SPOE) 破綻処理モデルに備えて、当グループは持株会社であるパークレイズ・ピーエルシーによる負債性資本の発行およびターム無担保シニア資金調達を続け、パークレイズ・ピーエルシーの満期を迎えた負債を借り換えています。

期間別ホールセール調達

	1ヶ月以上 1ヶ月未満	3ヶ月以上 3ヶ月未満	6ヶ月以上 6ヶ月未満	1年未満 12ヶ月未満	1年以上 小計	2年以上 2年未満	3年以上 3年未満	4年以上 4年未満	5年以上 5年未満	5年以上	合計
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
パークレイズ・ピーエルシー											
無担保シニア債 (公募)	-	-	-	-	-	8	1	22	27	53	111
無担保シニア債 (私募)	-	-	-	-	-	-	1	-	10	5	7
劣後負債	-	-	-	-	-	-	-	-	10	19	29
パークレイズ・バンク・ピーエルシー											
銀行預り金	182	13	15	140	224	-	-	-	3	3	230
譲渡性預金証書およびコマーシャル・ペーパー	10	49	46	49	154	9	6	9	5	4	187
資産担保コマーシャル・ペーパー	40	31	1	-	72	-	-	-	-	-	72
無担保シニア債 (公募)	-	15	-	38	53	1	16	20	7	17	114
無担保シニア債 (私募) ²	11	17	30	49	107	61	44	34	22	89	357
転換社債	-	-	-	32	32	24	-	18	10	37	121
資産担保証券	-	-	3	15	18	13	8	11	-	-	50
劣後負債	-	-	-	-	-	43	1	-	60	93	197
その他 ³	32	2	3	3	40	5	4	3	3	7	62
2016年6月30日現在合計	275	127	98	200	700	164	81	117	148	327	1,537
担保付	42	31	6	49	128	39	8	30	10	37	252
無担保	233	96	92	151	572	125	73	87	138	290	1,285
2015年12月31日現在合計	158	153	86	138	535	165	126	137	83	373	1,419
担保付	42	39	16	3	100	51	24	28	5	45	253
無担保	116	114	70	135	435	114	102	109	78	328	1,166

1 ホールセール資金調達の構成は貸借対照表に計上された銀行預り金、公正価値で測定すると指定された金融負債、発行債券および劣後負債(現金担保と決済残高を除く)で成っており、イングランド銀行の資金調達支援スキームへの参加を含む担保スワップは含まれていません。

2 ストラクチャード・ノート290億ポンドを含み、うち90億ポンドは1年以内に満期を迎えます。

3 主として公正価値で測定した預り金50億ポンドおよび現物金担保付資金調達10億ポンドから成っています。

ホールセールの資金調達残高には360億ポンド(2015年:350億ポンド)の私募無担保シニア債が含まれています。これらの債券は仲介業者およびプライベート・バンクを含む各種販路を通じて発行されています。必要条件ではありませんが、余剰流動性は1年未満に満期を迎えるホールセール資金調達を790億ポンド(2015年:910億ポンド)上回りました。

ターム資金調達

当グループは2016年度上半期に持株会社から57億ポンドの優先無担保債発行と資本を行い、うち42億ポンドと6億ポンドはそれぞれ公募と私募の無担保シニア債、9億ポンドは劣後債でした。一方、事業会社のシニア債および資本性商品61億ポンドの買い戻しあるいは期限前償還を実施しました。

資金調達リスク – 流動性

2016年7月29日現在信用格付け

パークレイズ・バンク・ピーエルシー	スタンダード&プアーズ	ムーディーズ	フィッチ
長期	A-(ネガティブ)	A2(ネガティブ)	A(安定的)
短期	A-2	P-1	F1
スタンダードアローン格付け ¹	bbb+	baa2	a

パークレイズ・ピーエルシー	スタンダード&プアーズ	ムーディーズ	フィッチ
長期	BBB(ネガティブ)	Baa3(ネガティブ)	A(安定的)
短期	A-2	P-3	F1

¹ スタンダード&プアーズの「スタンダードアローン評価(SACP)」、ムーディーズの「ベースライン信用リスク評価(BCA)」、およびフィッチの「持続性格付(VR)」を示していません。

2016年6月23日に実施された欧州連合(EU)からの離脱をめぐる国民投票を受けて、主要格付け機関3社はいずれも英国ソブリン債の格付けを変更しました。また、S&Pとムーディーズは各々に英国の銀行セクターに対する見解を修正し、パークレイズを含む多くの英国の銀行の格付け見通しを「ネガティブ」に変更しました。ムーディーズは2016年6月28日、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびパークレイズ・ピーエルシーの格付けをそれぞれA2/P-1、Baa3/P-3に据え置くことを確認しましたが、長期および預金格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に変更しました。第2四半期終了後、S&Pは2016年7月7日、同様にパークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびパークレイズ・ピーエルシーの格付けをそれぞれA-/A-2、BBB/A-2に据え置くことを確認する一方、長期格付け見通しを「安定的」から「ネガティブ」に変更しました。英国の国民投票後もフィッチのパークレイズの格付けおよび格付け見通しはともに変更されていません。

格付投資情報センター(R&I)は2016年7月14日、パークレイズ・バンク・ピーエルシーおよびパークレイズ・ピーエルシーの格付けをそれぞれA、A-、格付け見通しを「安定的」に据え置くことを確認しました。

パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド

- パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨、資金調達および規制上の要件のために別個に管理されています。
- 当グループの余剰流動性に加え、BAGLはBAGL固有のストレス時の想定資金流出額に対し70億ポンド(2015年:60億ポンド)の余剰流動性資産を保有しています。余剰流動性は南アフリカ国債および短期国債で構成されています。
- BAGLの預貸率は106%(2015年:102%)でした。

資金調達リスク – 資本

CRD IV 資本

パークレイズの現在の規制要件は、普通株式等 Tier1 比率 (CET1) の最低所要水準 4.5% および 2016 年から段階的に導入され、資本保全バッファ (CCB) 2.5% とグローバルなシステム上重要な金融機関 (G-SII) に対するバッファ 2% から成ると現在予想されているコンバインド・バッファ要件 (CCB) から成る CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率を満たすことです。これに加えて、ポイント・イン・タイム評価に基づく 2016 年のブルーデンス (健全性) 規制機構 (PRA) 個別資本ガイダンス (ICG) によるパークレイズのピラー 2A 要件は 3.9% で、うち 56% は CET1 で満たす必要があり、これはリスク調整後資産の約 2.2% に相当します。このピラー 2A 要件は少なくとも年 1 回の見直しの対象です。自己資本、リスク調整後資産およびレバレッジの算出はすべてパークレイズによる現行ルールへの解釈を反映したものです。さらに、カウンターシクリカル資本バッファ (CCCB) が必要です。金融政策委員会は 2016 年 7 月 5 日、少なくとも 2017 年 6 月までは英国のエクスポージャーについて CCCB を 0% に維持すると予想しているとの見解を発表しました。その他の国家当局もそれぞれの管轄地域におけるエクスポージャーに適用されるべき適切な CCCB を決定します。2016 年中に CCCB は他の地域に対するパークレイズのエクスポージャーに適用され始めます。ただし、現在のエクスポージャーに基づく、これは重要な影響を及ぼすものとはならない見込みです。

2016 年 6 月 30 日現在、パークレイズの CET1 比率は 11.6% で、CET1 の最低所要水準 4.5%、ピラー 2A の 2.2%、CCB バッファの 0.625%、G-SII バッファの 0.5%、CCCB の 0% を含め、2016 年の経過措置ルールに基づく最低所要水準の 7.8% を上回っています。

資本比率	2016 年 6 月 30 日現在	2016 年 3 月 31 日現在	2015 年 12 月 31 日現在
完全施行ベースの普通株式 Tier 1 (CET1) ^{1,2}	11.6%	11.3%	11.4%
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 ^{3,4}	14.6%	14.3%	14.7%
PRA 経過措置ルールに基づく自己資本合計 ^{3,4}	18.7%	18.2%	18.6%
資本要素	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
貸借対照表上の株主資本 (非支配持分を除く)	62,854	62,166	59,810
(控除) その他の持分商品 (AT1 資本として認識)	(5,314)	(5,312)	(5,305)
将来の配当原資としての利益剰余金に対する調整	(297)	(760)	(631)
少数株主持分 (連結 CET 1 として認められる金額)	1,501	1,046	950
その他規制上の調整および控除:			
追加的評価調整 (PVA)	(2,092)	(2,124)	(1,602)
のれんおよび無形資産	(8,552)	(8,457)	(8,234)
一時差異を除く将来の収益力に依拠する繰延税金資産	(670)	(771)	(855)
キャッシュフロー・ヘッジ損益に係る公正価値再評価差額	(3,046)	(2,497)	(1,231)
減損を上回る予想損失額	(1,475)	(1,377)	(1,365)
当グループ自体の信用度に関連する公正価値で測定する負債に係る損益	(177)	56	127
確定給付年金基金資産	(204)	(859)	(689)
当グループが発行した CET 1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	(50)	(54)	(57)
その他規制上の調整	(121)	(199)	(177)
完全施行ベース CET 1 資本	42,357	40,858	40,741
追加的 Tier 1 (AT1) 資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	5,314	5,312	5,305
子会社が発行した適格 AT1 資本 (少数株主持分を含む)	5,885	5,816	6,718
その他規制上の調整および控除	(130)	(130)	(130)
経過措置ルールに基づく AT1 資本⁵	11,069	10,998	11,893
PRA 経過措置ルールに基づく Tier 1 資本	53,426	51,856	52,634
Tier 2 (T2) 資本			
資本性商品および関連株式プレミアム	2,890	1,855	1,757
子会社が発行した適格 T2 資本 (少数株主持分を含む)	12,366	12,741	12,389
その他規制上の調整および控除	(254)	(253)	(253)
PRA 経過措置ルールに基づく規制上の自己資本合計	68,428	66,199	66,527

- CET 1 資本に対する経過措置ルールに基づく規制上の調整は適用されなくなったため、完全施行ベースの CET 1 資本は経過措置ルールに基づくものと同じです。
- 470 億ポンドの経過措置ベースの CRD IV CET 1 資本と 3,660 億ポンドのリスク調整後資産に基づく、パークレイズの Tier 2 コンテンジエンス・キャピタル・ノートに適用される CRD IV の CET 1 比率 (FSA による 2012 年 10 月の暫定発表) は 12.8% でした。
- PRA 経過措置ルールに基づく自己資本は PRA ルール・ブックおよび付属のスーパーバイザー・ステートメントに基づいています。
- 2016 年 6 月 30 日現在、パークレイズの完全施行ベースの Tier 1 自己資本は 479 億 4,600 万ポンド、完全施行ベースの Tier 1 比率は 13.1% でした。完全施行ベースの規制上の自己資本総額は 644 億 500 万ポンド、完全施行ベースの総自己資本比率は 17.6% でした。完全施行ベースの Tier 1 自己資本および自己資本総額の数値は、CRD IV が定めた経過規定を適用せず、また、CRD IV の関連基準に対する AT1 および T2 金融商品のコンプライアンスを評価せずに算出されています。
- 経過措置ルールに基づく AT1 資本 11 億ポンドのうち、レバレッジ比率に用いられた完全施行ベースの AT1 資本は資本性商品および関連株式プレミアム 53 億ポンド、適格少数株主持分 4 億ポンドおよび資本控除 1 億ポンドを含みます。既得権条項の対象になる子会社が発行したレガシー Tier 1 資本性商品は除外していません。

資金調達リスク – 資本

普通株式 Tier 1 (CET1) 資本の変動	2016年 6月30日に 終了した3ヶ月 (百万ポンド)	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
CET 1 資本の期首残高	40,858	40,741
株主に帰属する当期利益	781	1,318
当グループ自身の信用度に関連する影響	(233)	(304)
支払および支払予定配当金	(199)	(403)
利益から生じた規制上の自己資本の増加	349	611
株式制度の正味影響額	141	14
売却可能投資再評価差額	(247)	(310)
為替換算再評価差額	1,529	2,322
その他の剰余金	(600)	(628)
その他の適格剰余金の増加	823	1,398
退職給付引当金	(805)	(759)
確定給付年金基金資産の控除	655	485
年金の正味の影響	(150)	(274)
少数株主持分	455	551
追加的評価調整 (PVA)	32	(490)
のれんおよび無形資産	(95)	(318)
一時差異を除く将来の収益力に依拠する繰延税金資産	101	185
減損を上回る予想損失額	(98)	(110)
当グループが発行した CET1 金融商品の金融機関による直接的・間接的保有	4	7
その他規制上の調整	78	56
調整および控除による規制上の自己資本の増加 / (減少)	477	(119)
CET 1 資本の期末残高	42,357	42,357

- 2016 年度上半期の CET 1 比率は、リスク調整後資産が 80 億ポンド増加して 3,660 億ポンドになったものの、CET 1 資本が 16 億ポンド増加して 424 億ポンドになったことを反映して、11.6%(2015 年 12 月:11.4%)に上昇しました。
- CET 1 資本の重要な変動は以下の通りです。
 - 当グループ自身の信用度並びに配当金支払額および予定配当金の影響の緩和後の利益から生じた規制上の自己資本が 6 億ポンド増加しました。
 - その他の適格剰余金は 14 億ポンド増加しました。これにはすべての主要通貨が英ポンドに対して上昇したことに伴う為替換算再評価差額の 23 億ポンドの増加が含まれています。
 - BAGL の発行済株式の 12.2%を売却した結果、少数株主持分が 6 億ポンド増加しました。
 - 追加的評価調整 (PVA) の控除が 5 億ポンド増加しました。2016 年度第 1 四半期に行なった手法変更が主因です。
 - のれんおよび無形資産控除が 3 億ポンド増加しました。2016 年度第 1 四半期に米コンシューマー・カード事業における JetBlue のクレジットカード・ポートフォリオを買収したことが一因です。

資金調達リスク – 資本

リスクの種類および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク		カウンターパーティ 信用リスク			市場リスク			オペレー ショナル リスク	リスク 調整後 資産合計
	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付 手法 (百万ポンド)	標準的手法 (百万ポンド)	内部格付 手法 (百万ポンド)	決済リスク (百万ポンド)	信用価値 調整 (百万ポンド)	標準的 手法 (百万ポンド)	内部モデル 方式 (百万ポンド)		
2016年6月30日現在										
パークレイズ UK	5,795	48,656	10	-	-	83	-	-	12,574	67,118
パークレイズ・コーポレート& インターナショナル 本社 ¹	50,607	82,219	11,754	14,401	57	4,078	9,923	9,008	27,257	209,304
	8,038	22,954	33	935	-	524	414	2,279	8,003	43,180
パークレイズ・コア	64,440	153,829	11,797	15,336	57	4,685	10,337	11,287	47,834	319,602
パークレイズ・ノンコア	7,335	10,813	1,911	9,797	1	3,163	782	4,038	8,826	46,666
パークレイズ・グループ	71,775	164,642	13,708	25,133	58	7,848	11,119	15,325	56,660	366,268
2015年12月31日現在										
パークレイズ UK	6,562	50,763	26	-	-	-	-	-	12,174	69,525
パークレイズ・コーポレート& インターナショナル 本社 ¹	45,892	77,275	10,463	11,055	516	3,406	8,373	10,196	27,657	194,833
	8,291	20,156	54	538	8	382	399	1,903	8,003	39,734
		148,194								
パークレイズ・コア	60,745	153,829	10,543	11,593	524	3,788	8,772	12,099	47,834	304,092
パークレイズ・ノンコア	8,704	12,797	1,653	9,430	1	7,480	1,714	3,679	8,826	54,284
		160,991								
パークレイズ・グループ	69,449	166,626	12,196	21,023	525	11,268	10,486	15,778	56,660	358,376

リスク調整後資産の変動の内訳

リスク調整後資産	信用リスク (億ポンド)	カウンターパーティ 信用リスク (億ポンド)	市場リスク (億ポンド)	オペレーショナル・ リスク (億ポンド)	リスク調整後 資産合計 (億ポンド)
2016年1月1日現在	2,304	337	376	567	3,584
簿価残高	-	68	(11)	-	57
取得および売却	(29)	-	-	-	(29)
簿価の質	14	3	6	-	23
モデルの更新	(38)	(2)	(1)	-	(59)
手法および方針	(5)	1	(27)	-	(31)
外国為替の変動 ²	118	-	-	-	118
2016年6月30日現在	2,364	389	343	567	3,663

¹ パークレイズ・アフリカの非継続事業を含んでいます。

² 外国為替の変動にはモデル化によるカウンターパーティ・リスクやモデル化による市場リスクに係る為替は含まれていません。

リスク調整後資産は79億ポンド増加して3,663億ポンドとなりました。主な要因は以下の通りです。

- 簿価: リスク調整後資産は57億ポンド増加。主因はデリバティブ・エクスポージャーの公正価値の増加およびトレーディング活動の増加。
- 取得および処分: リスク調整後資産は29億ポンド減少。主因はポルトガル事業売却を含むノンコア部門の売却。
- 簿価の質: リスク調整後資産は23億ポンド増加。主因はノンコア部門内のリスク特性の変動。
- モデルの更新: リスク調整後資産は59億ポンド減少。主因はPRA承認を受けたパークレイズ UKにおけるモデルの変更。
- 手法および方針: リスク調整後資産は31億ポンド減少。主因は平均CVAに対するミスマッチ外国為替担保の担保モデリングの影響およびクレジット変換係数および標準化された一般市場リスクに影響を及ぼした更新。
- 外国為替の変動によりリスク調整後資産は118億ポンド増加。主因は英ポンドに対する南アフリカ・ランド、米ドル、ユーロの上昇。

資金調達リスク – 資本

レバレッジ比率およびエクスポージャー

パークレイズは 2016 年 1 月 1 日付でグループに適用されるレバレッジ比率および平均レバレッジ比率の開示を求められています。

- レバレッジ比率は 2015 年 12 月期と同じ計算方法で算出され、下表に掲載されています。算出に際しては最終的な CRR の定義による Tier 1 自己資本を分子とし、また CRR の定義によるレバレッジ・エクスポージャーを使用しています。現在予想される完全施行ベースの最低要件は 3% ですが、レバレッジの枠組みに関するパーゼル委員会の協議により影響を受ける可能性があります。
- PRA のスーパーバイザー・ステートメント「SS45/15」および更新された PRA のルール・ブックで概要が示されたように、平均レバレッジ比率は自己資本の数値をエクスポージャーの数値で除して算出されています。自己資本およびエクスポージャーの数値は、当該四半期の各月の最終日のその平均値に基づきます。予想される最終的な最低要件は 3.7% で、最低要件 3%、完全施行ベースの G-SII に対する追加的レバレッジ比率バッファ（G-SII ALRB）、およびカウンター・シクリカル・レバレッジ比率バッファ（CCLB）で構成されています。

2016 年 6 月 30 日現在、パークレイズのレバレッジ比率は 4.2% (2015 年 12 月: 4.5%)、平均レバレッジ比率は 4.1% でした。これは最低要件 3% および段階的に施行された G-SII ALRB で構成されるパークレイズの経過措置ルールに基づく最低要件 3.175% を上回っています。また、予想される最終的な最低要件 3.7% も上回る水準です。

	2016 年 6 月 30 日現在	2016 年 3 月 31 日現在	2015 年 12 月 31 日現在
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
レバレッジ・エクスポージャー			
会計上の資産			
デリバティブ	4,450	4,010	3,280
現金担保	790	700	620
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付	200	200	280
公正価値で測定すると指定された金融資産 ¹	890	850	770
貸付金およびその他の資産	7,180	6,730	6,250
IFRS 上の資産合計	13,510	12,490	11,200
規制上の連結調整	(100)	(100)	(100)
デリバティブ調整			
デリバティブ・ネットイング	(4,020)	(3,650)	(2,930)
現金担保に係る調整	(640)	(560)	(460)
売建クレジット・プロテクション純額	190	160	150
デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー (PFE)	1,420	1,340	1,290
デリバティブ調整合計	(3,050)	(2,710)	(1,950)
証券金融取引 (SFT) 調整	180	180	160
規制上の控除およびその他調整	(160)	(160)	(140)
加重計算されたオフ・バランスシートのコミットメント	1,170	1,120	1,110
レバレッジ・エクスポージャー合計	11,550	10,820	10,280
完全施行ベースの CET 1 資本	424	409	407
完全施行ベースの AT 1 資本	56	55	54
完全施行ベースの Tier 1 資本	479	463	462
レバレッジ比率	4.2%	4.3%	4.5%

¹ 公正価値で測定すると指定された金融資産には、公正価値で測定すると指定されたリバース・レポ取引 730 億ポンド (2015 年 12 月: 500 億ポンド) が含まれていません。

資金調達リスク – 資本

2016年度上半期のレバレッジ比率は、完全施行ベースの Tier 1 資本が 18 億ポンド増加し、479 億ポンド(2015年12月:462 億ポンド)となったことによって一部相殺されましたが、主としてレバレッジ・エクスポージャーが 1,270 億ドル増加し、1 兆 1,550 億ポンドとなったことから、4.2%に低下しました(2015年12月:4.5%)。

- 貸付金およびその他の資産は 930 億ポンド増加し、7,180 億ポンドとなりました。この増加は主に EU を巡る国民投票に備えてグループの余剰流動性の現金部分を増やしたことによる現金および中央銀行預け金の 270 億ポンドの増加、顧客の取引量の拡大に伴う決済残高の 260 億ポンドの増加、バークレイズ・コーポレート&インターナショナルにおける貸付金の 140 億ポンドの増加および英ポンドに対する南アフリカ・ランドの上昇を受けたアフリカ・バンキングの売却目的資産の 80 億ポンドの増加によるものです。
- マッチド・ブック・トレーディングの増加を受け、リバース・レポ取引は 150 億ポンド増加し、930 億ポンドになりました。
- 売建クレジット・プロテクション純額およびデリバティブに係る潜在的将来のエクスポージャー (PFE) を除いた正味のデリバティブ・レバレッジ・エクスポージャーは 70 億ポンド増加し、580 億ポンドになりました。これは、主要なフ金利オワード・レートの低下と主要通貨が英ポンドに対して上昇したことにより、金利デリバティブおよび通貨デリバティブの増加に伴い、IFRS 上のデリバティブが増加したことが主たる要因です。
- 圧縮活動、ポジションの売却および取引の満期によって部分的に相殺されましたが、主として主要通貨が英ポンドに対して上昇したことから、デリバティブに係る潜在的将来エクスポージャー (PFE) は 130 億ポンド増加し、1,420 億ポンドになりました。
- 主として主要通貨が英ポンドに対して上昇したことから、加重計算されたオフ・バランスシートのコミットメントは 60 億ポンド増加し 1,170 億ポンドになりました。

2016年度上半期の平均レバレッジ・エクスポージャーの数値は1兆1,390億ポンドで、平均レバレッジ比率は4.1%となりました。0.175%の経過措置ルールに基づくG-SII ALRBに対して保有するCET1資本は20億ポンドでした。現在、CCLBによる当グループへの影響はありません。

規制 (EU) No575/2013 (EBA/GL/2014/14) に規定された重要性、個別性および秘匿性、ならびに開示頻度に関する欧州銀行監督局の指針に準拠して作成されたバークレイズの追加的な規制上の開示は2016年8月11日に home.barclays/results で開示される予定です。

信用リスク

顧客および銀行に対する貸付金の分析

産業セクターおよび地域別貸付金(償却原価ベース、減損引当金控除後)

2016年6月30日現在	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	米州 (百万ポンド)	アフリカ および中東 (百万ポンド)	アジア (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
銀行	5,638	14,091	16,107	1,214	5,421	42,471
その他金融機関	31,030	23,964	62,836	365	5,135	123,330
住宅ローン	131,867	12,071	576	365	115	144,994
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	29,215	4,188	19,364	666	92	53,525
建設および不動産	20,799	1,121	1,581	135	127	23,763
その他	51,593	16,551	11,456	3,374	2,386	85,360
顧客および銀行に対する貸付金純額	270,142	71,986	111,920	6,119	13,276	473,443
減損引当金	2,543	785	906	103	46	4,383
顧客および銀行に対する貸付金総額	272,685	72,771	112,826	6,222	13,322	477,826
貸付金(公正価値で測定)	10,235	359	820	9	25	11,448
2015年12月31日現在						
銀行	7,344	9,796	12,979	2,053	4,657	36,829
その他金融機関	18,521	16,910	39,796	1,826	3,676	80,729
住宅ローン	132,167	12,297	624	10,532	243	155,863
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	28,800	4,665	17,487	7,713	1,497	60,162
建設および不動産	18,565	803	1,834	2,072	245	23,519
その他	44,422	12,819	10,161	12,165	3,897	83,464
顧客および銀行に対する貸付金純額	249,819	57,290	82,881	36,361	14,215	440,566
減損引当金	2,492	816	725	839	49	4,921
顧客および銀行に対する貸付金総額	252,311	58,106	83,606	37,200	14,264	445,487
貸付金(公正価値で測定)	16,281	290	813	504	25	17,913

貸付金純額は 329 億ポンド増加し 4,734 億ポンドに増加しました。これは、BAGL の貸付金 306 億ポンドの売却目的保有への組替えならびにノンコア部門におけるその他の資産の縮小および撤退による 60 億ポンドの減少によって一部相殺されましたが、現金担保および決済残高の 464 億ポンドの増加、ESHLA 貸付金が組替えられて償却原価で認識されるようになったことによる 81 億ポンドの増加、パークレイズ・コーポレート&インターナショナル部門での貸付金が 145 億ポンド増加したことなどの要因によります。

監視しているその他のリスクとして、ロシア、中国、石油およびガス・セクターに対するエクスポージャーが含まれます。石油およびガス・セクターに対する貸借対照表上の正味エクスポージャーは、47 億ポンド(2015 年:44 億ポンド)でした。当該セクターに対する偶発債務および契約債務は 139 億ポンド(2015 年:138 億ポンド)でした。減損費用は 8,800 万ポンド(2015 年度上半期:200 万ポンド)でした。強固もしくは十分に区分された、当グループの正味エクスポージャー合計の割合は、このセクターに対する信用リスクに対する正味エクスポージャー合計の 93%(2015 年:97%)でした。

信用リスク

リテールおよびホールセール貸付金ならびに減損の分析

2016年6月30日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損控除後) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 ¹ (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
パークレイズ UK	155,013	1,619	153,394	2,228	14	360	47
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社	28,609	1,049	27,560	1,033	3.6	373	263
パークレイズ・コア	183,622	2,668	180,954	3,261	1.8	733	80
パークレイズ・ノンコア	11,266	414	10,852	917	8.1	37	66
グループ・リテール合計	194,888	3,082	191,806	4,178	2.1	770	80
パークレイズ UK	15,383	263	15,120	627	4.1	6	8
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社	203,725	686	203,039	1,379	0.7	135	13
パークレイズ・コア	224,910	949	223,961	2,006	0.9	141	13
パークレイズ・ノンコア	58,028	352	57,676	455	0.8	16	6
グループ・ホールセール合計	282,938	1,301	281,637	2,461	0.9	157	11
グループ合計	477,826	4,383	473,443	6,639	1.4	927	39
売買目的の貸付金	3,180	n/a	3,180				
公正価値で測定すると指定された貸付金	11,448	n/a	11,448				
貸付金(公正価値で保有)	14,628	n/a	14,628				
貸付金合計	492,454	4,383	488,071				
2015年12月31日現在							
パークレイズ UK	153,539	1,556	151,983	2,238	1.5	682	44
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社	26,041	896	25,145	863	3.3	714	274
パークレイズ・コア	196,992	2,991	194,001	3,960	2.0	1,669	85
パークレイズ・ノンコア	12,588	465	12,123	936	7.4	139	110
グループ・リテール合計	209,580	3,456	206,124	4,896	2.3	1,808	86
パークレイズ UK	16,400	312	16,088	636	3.9	24	15
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社	159,776	617	159,159	1,331	0.8	201	13
パークレイズ・コア	195,928	1,129	194,799	2,480	1.3	305	16
パークレイズ・ノンコア	39,979	336	39,643	441	1.1	(16)	(4)
グループ・ホールセール合計	235,907	1,465	234,442	2,921	1.2	289	12
グループ合計	445,487	4,921	440,566	7,817	1.8	2,097	47
売買目的の貸付金	2,474	n/a	2,474				
公正価値で測定すると指定された貸付金	17,913	n/a	17,913				
貸付金(公正価値で保有)	20,387	n/a	20,387				
貸付金合計	465,874	4,921	460,953				

¹ 売却可能投資およびリバース・レポ取引に係る減損費用は除いています。2015年12月期の減損費用は12ヶ月間の費用であったのに対し、2016年度上半期の減損費用は6ヶ月間のものです。

銀行および顧客に対する貸付金(償却原価ベース、減損控除後)は、4,734億ポンド(2015年:4,406億ポンド)に増加しました。

- 現金担保および決済残高の318億ポンドの増加、ならびに145億ポンドの貸付金の増加を反映し、パークレイズ・コーポレート&インターナショナル部門は463億ポンド増加し、2,306億ポンドとなりました。
- アジアのウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業、フランスのリテール・バンキング事業および南欧のカード事業の売却目的保有への組替え、ならびに過去のインベストメント・バンク資産の縮小と撤退に伴い60億ポンド減少したことによって一部相殺されたものの、現金担保および決済残高が146億ポンド増加したこと、ならびにESHLA貸付金が組み替えられ

信用リスク

て償却原価で認識されるようになったことによって 81 億ポンド増加したことによって、パークレイズ・ノンコア部門では 168 億ポンド増加し、685 億ポンドになりました。

- 本社部門は BAGL 残高を売却目的保有に組替えたことから 306 億ポンド減少し、58 億ポンドとなりました。

潜在的クレジット・リスク・ローン(CRL)およびカバレッジ比率の分析

	CRL		潜在的な問題貸付金		潜在的 CRL	
	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)
パークレイズ UK	2,228	2,238	301	382	2,529	2,620
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社 ¹	1,033	863	135	117	1,168	980
	-	859	-	154	-	1,013
パークレイズ・コア	3,261	3,960	436	653	3,697	4,613
パークレイズ・ノンコア	917	936	11	26	928	962
グループ・リテール合計	4,178	4,896	447	679	4,625	5,575
パークレイズ UK	627	637	58	127	685	764
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社 ¹	1,379	1,330	1,119	877	2,498	2,207
	-	513	-	245	-	758
パークレイズ・コア	2,006	2,480	1,177	1,249	3,183	3,729
パークレイズ・ノンコア	455	441	42	122	497	563
グループ・ホールセール合計	2,461	2,921	1,219	1,371	3,680	4,292
グループ合計	6,639	7,817	1,666	2,050	8,305	9,867
	減損引当金		CRL カバレッジ比率		潜在的 CRL カバレッジ比率	
	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 6月30日現在 %	2015年 12月31日現在 %	2016年 6月30日現在 %	2015年 12月31日現在 %
パークレイズ UK	1,619	1,556	72.7%	69.5%	64.0%	59.4%
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社 ¹	1,049	897	101.5%	103.9%	89.8%	91.5%
	-	539	-	62.7%	-	53.2%
パークレイズ・コア	2,668	2,992	81.8%	75.6%	72.2%	64.9%
パークレイズ・ノンコア	414	464	45.1%	49.6%	44.6%	48.2%
グループ・リテール合計	3,082	3,456	73.8%	70.6%	66.6%	62.0%
パークレイズ UK	263	312	41.9%	49.0%	38.4%	40.8%
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル 本社 ¹	686	617	49.7%	46.4%	27.5%	28.0%
	-	200	-	39.0%	-	26.4%
パークレイズ・コア	949	1,129	47.3%	45.5%	29.8%	30.3%
パークレイズ・ノンコア	352	336	77.4%	76.2%	70.8%	59.7%
グループ・ホールセール合計	1,301	1,465	52.9%	50.2%	35.4%	34.1%
グループ合計	4,383	4,921	66.0%	63.0%	52.8%	49.9%

¹ 2015年12月31日現在のパークレイズ・アフリカの非継続事業を含んでいます。

- クレジット・リスク・ローン(CRL)は 15%減少して 66 億ポンドになりました。
- CRL は、ホールセール・ポートフォリオでは 16%減少して 25 億ポンドに、リテール・ポートフォリオでは 15%減少し 42 億ポンドになりました。これは BAGL 貸付残高を売却目的保有に組替えたことによります。

信用リスク

条件緩和プログラムの分析

	残高		減損引当金		引当率	
	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)	2016年 6月30日現在 %	2015年 12月31日現在 %
パークレイズ UK	971	1,036	221	191	22.8	18.4
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル	231	185	64	46	27.7	24.9
パークレイズ・コア	1,202	1,221	285	237	23.7	19.4
パークレイズ・ノンコア	373	342	56	63	15.0	18.4
本社 ¹	-	210	-	29	-	13.8
リテール合計	1,575	1,773	341	329	21.7	18.6
パークレイズ UK	413	412	30	32	7.3	7.8
パークレイズ・コーポレート&インターナショナル	1,723	1,505	228	196	13.2	13.0
パークレイズ・コア	2,136	1,917	258	228	12.1	11.9
パークレイズ・ノンコア	150	287	59	146	39.3	50.9
本社 ¹	-	228	-	17	-	7.5
ホールセール合計	2,286	2,432	317	391	13.9	16.1
グループ合計	3,861	4,205	658	720	17.0	17.1

¹ 2015年12月31日現在のパークレイズ・アフリカの非継続事業を含んでいます。

リテール向けの条件緩和残高は、パークレイズ・コーポレート&インターナショナル部門における若干の増加により相殺はあったものの、主として非継続事業(BAGL)の除外およびパークレイズ UK における継続的な改善を反映し、11%減少し 16 億ポンドとなりました。

- **パークレイズ UK:** 条件緩和残高は、緩やかな経済環境を背景にカードおよびモーゲージ・ポートフォリオにおける継続的な改善によって、6%減少し 9 億 7,100 万ポンドとなりました。
- **パークレイズ・コーポレート&インターナショナル:** 残高の増加、戦略の変更および外国為替の変動に伴う米国カードを主因として、残高が増えました。

ホールセール向けの条件緩和残高は、パークレイズ・コーポレート&インターナショナル部門での増加がありましたが、非継続事業(BAGL)の除外を主要因に 6%減少し、23 億ポンドとなりました。

信用リスク

ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 下表はユーロ圏諸国に対するパークレイズの最も大きなエクスポージャー（貸借対照表上、40億ポンド超の正味残高）を掲載しています。作成基準は2015年度の年次報告書に記載されたものと同様です。
- 正味エクスポージャーは当グループがさらされている信用リスクの最も適切な測定基準です。総エクスポージャーもオフ・バランスシートの偶発債務および契約債務とともに下表に示しています。
- イタリアの住宅モーゲージ100億ポンド(2015年12月:95億ポンド)は住宅によって担保されており、平均残高で加重計算した時価LTVは61.4%(2015年12月:60.6%)、クレジット・リスク・ローンの比率は32%(2015年12月:31%)でした。90日以上延滞率は1.2%(2015年12月:1.2%)、総貸倒率は0.7%(2015年12月:0.7%)とそれぞれ安定的に留まりました。

	サブリン	金融機関	法人	住宅 モーゲージ	その他 リテール貸付	貸借対照表上 の正味エク スポージャー	貸借対照表上の 総エク スポージャー	偶発債務 および 契約債務
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
2016年6月30日現在								
イタリア	2,588	1,894	820	10,003	646	15,951	20,997	2,735
ドイツ	7,062	3,879	1,288	8	2,716	14,953	55,561	10,716
フランス	6,395	4,895	1,225	717	157	13,389	43,195	7,210
オランダ	1,560	1,119	1,146	4	4	3,833	12,475	3,378
アイルランド	56	1,449	2,127	30	81	3,743	6,280	2,782
ポルトガル	1	669	111	6	84	871	1,036	1,200
2015年12月31日現在								
イタリア	1,708	2,283	1,039	9,505	675	15,210	20,586	2,701
ドイツ	7,494	3,621	1,602	9	2,313	15,039	50,930	8,029
フランス	7,426	4,967	805	1,472	152	14,822	43,427	7,436
オランダ	2,254	1,177	1,280	4	-	4,715	16,808	2,970
アイルランド	9	2,824	1,282	37	51	4,203	7,454	2,673
ポルトガル	87	3,346	152	6	700	4,291	4,555	1,299

市場リスク

管理 VaR の分析

- 下表は、リスク要因別の分散ベースの管理 VaR 合計を示しています。管理 VaR 合計にはインベストメント・バンク、ノンコアおよび本社の全トレーディング・ポジションが含まれており、1 日保有した場合の VaR が計算されています。
- 各リスク要因 VaR および管理 VaR 合計には上限が適用され、この上限はリスク管理者によりさらに各事業部門に割り振られます。

資産種別管理 VaR (95%)¹

	2016 年 6 月 30 日に終了した半期			2015 年 12 月 31 日に終了した半期			2015 年 6 月 30 日に終了した半期		
	日次平均 (百万ポンド)	最大 ² (百万ポンド)	最小 ² (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 ² (百万ポンド)	最小 ² (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 ² (百万ポンド)	最小 ² (百万ポンド)
クレジット・リスク	15	23	9	12	17	9	10	13	8
金利リスク	6	10	4	6	14	4	7	12	4
株式リスク	6	10	4	7	18	4	9	17	5
ベースス・リスク	5	6	3	3	4	2	3	4	3
スプレッド・リスク	3	5	2	3	4	2	3	6	2
為替リスク	3	4	2	3	6	1	3	5	1
コモディティ・リスク	2	4	1	2	3	1	2	2	1
インフレ・リスク	2	3	2	2	4	2	3	5	2
分散効果 ¹	(22)	-	-	(21)	-	-	(22)	-	-
管理 VaR 合計	20	29	13	17	25	12	18	25	13

¹ バークレイズ・アフリカの非継続事業を含んでいます。

² 各区分ごとに報告されている最大、最小の VaR 値は、全体として報告されている最大、最小の VaR と、必ずしも同日に発生したものではありません。従って、最大、最小の VaR 値にかかる分散効果は意味が無く、上表では省略されています。

2016 年度上半期の平均管理 VaR 合計は、バークレイズ自身の信用スプレッドが大幅に拡大したことに伴い、信用 VaR が 25% 増加し、1,500 万ポンドとなったことに大きく起因して、18% 増の 2,000 百万ポンドになりました。ベースス VaR はトレーディング・ブック上のクロス・カレンシーのポジションの変化を受け、増加しました。

株式 VaR は、資本市場での活動の縮小に伴い、昨年比べて減少しました。

市場リスク

利息収入純額の感応度分析

下表は、2016年6月30日現在および2015年12月31日現在で保有されていた非トレーディング金融資産および金融負債の税引前利息収入純額の感応度分析を示しています。感応度は年次アーニングズアットリスク(AEaR)手法で測定されています。本指標は金利フォワードカーブに対して即時的・同時発生的な変化が生じることを前提としていることに留意してください。モデルではショック・レートの下限をゼロとしています。従ってNII利息収入純額の感応度における変化はフォワード・レートがゼロ以上になった場合にのみ観察されます。モデルの主な前提として、以下があげられます。(i)期間範囲は1年間、(ii)貸借対照表が現在の水準を維持すること。すなわちゼロ成長と見込んでいること、(iii)貸付残高は想定される行動様式を織り込み調整されていること。(たとえば、契約上の満期日より前に借換するか、資産を売却するといったような顧客の行動を考慮に入れること、(iv)行動様式の想定は、上方向あるいは下方向へのショックを受けても変更されることなく維持されること

事業部門別利息収入純額の感応度(AEaR)

	パークレイズ UK (百万ポンド)	パークレイズ・ コーポレート& インターナショナル (百万ポンド)	ノン・コア (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
2016年6月30日に終了した期間^{1,2,3}				
+50 ベーシス・ポイント	40	70	3	113
+25 ベーシス・ポイント	23	51	2	76
-25 ベーシス・ポイント	(82)	(109)	-	(191)
-50 ベーシス・ポイント	(101)	(137)	-	(238)
2015年12月31日に終了した期間^{2,3}				
+50 ベーシス・ポイント	31	38	7	76
+25 ベーシス・ポイント	16	21	5	42
-25 ベーシス・ポイント	(50)	(41)	-	(91)
-50 ベーシス・ポイント	(141)	(152)	-	(293)

1 ノンコアの数値は2016年5月現在

2 インベストメント・バンキング事業を除いています。

3 本社のバンキング・ブック(主として資金管理)は、主に流動性と調達管理に係るものであるため、含まれていません。資金管理のポジションは、金利の下落の影響を受けやすいため、モデル化された下限の前提は、予想感応度を完全には反映していません。本社には、金利上昇に伴い収益の向上をもたらす感応度である銀行の株式の構造的ヘッジが含まれています。本社の±25ベーシス・ポイントの変化は、全体としてそれぞれマイナス500万ポンドおよびプラス300万ポンドの影響を及ぼします。

2016年度上半期の間、英ポンドの金利環境は大きく変化し、同年度第3四半期には25ベーシス・ポイントの英ポンドの基準金利の引き下げが予想されています。これは、モデル化されたベースケースには、英国の金利の引き下げの見通しが既に織り込まれていることを意味しています。したがって、追加的な25ベーシス・ポイントの金利の引き下げにより、この時点からフォワードレートカーブの平行的に下落となります。その場合、金利がゼロまで低下すること(ここでは、モデルの下限前提が効力を持つこととなります。)を意味しています。

パークレイズ UK およびパークレイズ・コーポレート&インターナショナルでは、2015年度に比べると、予測される基準金利の低下は、顧客向けの商品が金利の下限水準に近づいていることを意味し、その基準は、当該モデルがそれを超えた更なるレートの低下に移ることはない想定しているものであるため、顧客の負債における利ざやが圧縮されるリスクが高まっています。最初の25ベーシス・ポイントの引き下げの影響が、基準金利にリンクした商品の利ざやの圧縮を完全に捕捉するため、マイナス50ベーシス・ポイントの引き下げによる追加的な影響は軽微なものにとどまります。

市場リスク

余剰流動性内の売却可能資産(AFS: Available for Sale)ポートフォリオのボラティリティ

売却可能エクスポージャーの価値の変化は、株式剰余金として直接資本に計上されます。余剰流動性内の売却可能投資の価値のボラティリティはアーニング手法ではなく、バリュー手法、すなわち非トレーディング市場リスク VaR で把握および管理されま

す。非トレーディング VaR の基礎的な計算手法はトレーディングマネージメント VaR で使用される手法と類似していますが、双方を直接比較することはできません。非トレーディング VaR は、AFS エクスポージャーによって変動する資本に対するボラティリティを示すものです。これらのエクスポージャーはバンキング・ブックのものであり、トレーディング・ブックの扱いのための要件を満たしていません。

余剰流動性内の AFS ポートフォリオのボラティリティの分析

	2016年6月30日に終了した半期			2015年12月31日に終了した半期			2015年6月30日に終了した半期		
	日次平均	最大	最小	日次平均	最大	最小	日次平均	最大	最小
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
終了した6ヶ月間の非トレーディング市場 VaR (日次の95%)	42	46	35	42	48	37	41	44	39

非トレーディング VaR は、主に発展した市場における金利のボラティリティに影響されます。

2016 年度上半期において、アセット・スワップのボラティリティは高まったものの、売却可能エクスポージャーの減少により相殺されたため平均 VaR は安定的に推移しました。2016 年度第 2 四半期には、資産の目的を反映して、従来は売却可能投資に分類されていた英国ギルト債を満期保有目的に組替えたことに伴い、売却可能 VaR は減少しました。

要約連結財務書類

要約連結損益計算書(未監査)

継続事業	注記 ¹	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
利息収入純額		5,218	5,190
手数料収入純額		3,299	3,463
トレーディング収益純額		1,545	2,549
投資収益純額		914	895
保険契約に基づく保険料収入純額		159	188
その他の収益		17	(7)
収益合計		11,152	12,278
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(139)	(167)
保険金控除後の収益合計		11,013	12,111
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(931)	(779)
営業費用純額		10,082	11,332
人件費	2	(4,601)	(4,292)
一般管理費	3	(3,096)	(4,298)
営業費用		(7,697)	(8,590)
企業売却(損)、関連会社およびジョイント・ベンチャーの損益に対する持分ならびに売却目的保有資産にかかる減損		(322)	(140)
税引前利益		2,063	2,602
税金	5	(715)	(852)
継続事業に係る税引後利益		1,348	1,750
非継続事業に係る税引後利益	4	311	358
税引後利益		1,659	2,108
以下に帰属するもの:			
親会社の普通株主		1,110	1,611
その他の株主 ²		208	159
親会社の株主合計²		1,318	1,770
継続事業に係る非支配持分		186	173
非継続事業に係る非支配持分	6	155	165
税引後利益		1,659	2,108
1株当たり利益			
基本的普通株式1株当たり利益 ²	7	6.9ペンス	9.9ペンス
継続事業に係る基本的普通株式1株当たり利益		6.0ペンス	8.7ペンス
非継続事業に係る基本的普通株式1株当たり利益		0.9ペンス	1.2ペンス
希薄化後普通株式1株当たり利益 ²	7	6.8ペンス	9.7ペンス

1 財務書類に対する注記は英語原文の61ページから97ページをご参照下さい。

2 その他の株主に帰属する税引後利益2億800万ポンド(2015年度上半期:1億5,900万ポンド)は、剰余金に計上される税額控除5,800万ポンド(2015年度上半期:3,200万ポンド)によって相殺されています。1株当たり利益の計算に当たり、この残りの1億5,000万ポンド(2015年度上半期:1億2,700万ポンド)と非支配持分が税引後利益から控除されています。

要約連結財務書類

要約連結包括利益計算書(未監査)

	注記 ¹	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
税引後利益			
継続事業に係る税引後利益		1,659	2,108
非継続事業に係る税引後利益		1,348	1,750
		311	358
継続事業からの損益に振替えられる可能性のあるその他の包括利益 / (損失):			
為替換算再評価差額	17	1,789	(228)
売却可能投資再評価差額	17	(311)	(295)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	17	1,747	(613)
その他		(2)	41
損益に振替えられる可能性のある包括利益 / (損失)		3,223	(1,095)
損益に振替られないその他の包括損失:			
退職給付の再測定	14	(759)	(94)
継続事業からの税引後当期包括利益合計		3,812	561
非継続事業からの税引後当期包括利益合計		1,296	(35)
当期包括利益合計		5,108	526
以下に帰属するもの:			
親会社の株主		4,358	325
非支配持分		750	201
当期包括利益合計		5,108	526

1 財務書類に対する注記は英語原文の61ページから97ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結貸借対照表(未監査)

資産	注記 ¹	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)
現金および中央銀行預け金		76,866	49,711
他銀行からの取立中の項目		1,101	1,011
トレーディング・ポートフォリオ資産		76,543	77,348
公正価値で測定すると指定された金融資産		88,883	76,830
デリバティブ	10	445,180	327,709
金融投資	9	83,100	90,267
銀行に対する貸付金		48,117	41,349
顧客に対する貸付金		425,326	399,217
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		20,216	28,187
前払金、未収収益およびその他の資産		2,895	3,010
関連会社およびジョイント・ベンチャーに対する投資		598	573
有形固定資産		2,841	3,468
のれん		3,921	4,605
無形資産		3,439	3,617
未収還付税および繰延税金資産	5	4,630	4,910
退職給付資産	14	173	836
売却目的処分グループに含まれる資産	4	67,453	7,364
資産合計		1,351,282	1,120,012
負債			
銀行預り金		62,386	47,080
他銀行への未決済項目		784	1,013
顧客預り金		438,530	418,242
レポ取引およびその他類似の担保付借入		25,418	25,035
トレーディング・ポートフォリオ負債		32,643	33,967
公正価値で測定すると指定された金融負債		114,098	91,745
デリバティブ	10	442,317	324,252
発行債券 ²		66,172	69,150
劣後負債	12	22,650	21,467
未払金、繰延収益およびその他の負債		7,388	10,610
引当金	13	3,988	4,142
未払税金および繰延税金負債	5	923	1,025
退職給付債務	14	460	423
売却目的処分グループに含まれる負債	4	64,105	5,997
負債合計		1,281,862	1,054,148
株主資本			
払込済株式資本および株式払込剰余金	15	21,763	21,586
その他の剰余金	17	5,695	1,898
利益剰余金		30,082	31,021
親会社の普通株主に帰属する株主資本		57,540	54,505
その他の持分商品	16	5,314	5,305
非支配持分を除く株主資本合計		62,854	59,810
非支配持分	6	6,566	6,054
株主資本合計		69,420	65,864
株主資本および負債合計		1,351,282	1,120,012

1 財務書類に対する注記は英語原文の61ページから97ページをご参照下さい。

2 発行済み債券には120億7,000万ポンド(2015年12月: 123億ポンド)のカバード・ボンドが含まれています。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表(未監査)

2016年6月30日に終了した半期	払込済株式 資本および 株式払込 剰余金 ¹ (百万ポンド)	その他の 持分商品 ¹ (百万ポンド)	その他の 剰余金 ¹ (百万ポンド)	利益剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配持分 ² (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2016年1月1日現在残高	21,586	5,305	1,898	31,021	59,810	6,054	65,864
継続事業							
税引後利益	-	208	-	954	1,162	186	1,348
為替換算の変動	-	-	1,788	-	1,788	1	1,789
売却可能投資	-	-	(311)	-	(311)	-	(311)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	1,747	-	1,747	-	1,747
退職給付の再測定	-	-	-	(759)	(759)	-	(759)
その他	-	-	-	(3)	(3)	1	(2)
継続事業からの税引後包括利益合計	-	208	3,224	192	3,624	188	3,812
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	578	156	734	562	1,296
当期包括利益合計	-	208	3,802	348	4,358	750	5,108
普通株式の新規発行	28	-	-	-	28	-	28
従業員株式制度に基づく株式発行	149	-	-	226	375	-	375
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(208)	-	58	(150)	-	(150)
優先株式の償還	-	-	-	(253)	(253)	(550)	(803)
自己株式	-	-	(5)	(384)	(389)	-	(389)
配当金支払額	-	-	-	(588)	(588)	(280)	(868)
BAGLの一部売却による株主資本への正味影響額 ³	-	-	-	(349)	(349)	601	252
その他の剰余金の変動	-	9	-	3	12	(9)	3
2016年6月30日現在残高	21,763	5,314	5,695	30,082	62,854	6,566	69,420
2015年12月31日に終了した半期							
2015年7月1日現在残高	21,523	4,325	1,334	32,099	59,281	6,294	65,575
継続事業							
税引後損失	-	186	-	(2,114)	(1,928)	175	(1,753)
為替換算の変動	-	-	975	-	975	1	976
売却可能投資	-	-	66	-	66	-	66
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	120	-	120	-	120
退職給付の再測定	-	-	-	1,010	1,010	-	1,010
その他	-	-	-	(21)	(21)	1	(20)
継続事業からの税引後包括利益合計	-	186	1,161	(1,125)	222	177	399
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	(611)	109	(502)	(186)	(688)
当期包括利益合計	-	186	550	(1,016)	(280)	(9)	(289)
普通株式の新規発行	19	-	-	-	19	-	19
従業員株式制度に基づく株式発行	44	-	-	268	312	-	312
持分商品の発行および交換	-	995	-	-	995	-	995
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(186)	-	38	(148)	-	(148)
優先株式の償還	-	-	-	-	-	-	-
自己株式	-	-	14	(49)	(35)	-	(35)
配当金支払額	-	-	-	(335)	(335)	(251)	(586)
その他の剰余金の変動	-	(15)	-	16	1	20	21
2015年12月31日現在残高	21,586	5,305	1,898	31,021	59,810	6,054	65,864

1 株式資本、その他の持分商品およびその他の剰余金の詳細は英語原文の81ページから82ページをご参照下さい。

2 非支配持分の詳細は英語原文の66ページをご参照下さい。

3 BAGLの一部売却の詳細は英語原文の64ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結株主資本変動表(未監査)

	払込済株式 資本および 株式払込 剰余金 ¹ (百万ポンド)	その他の 持分商品 ¹ (百万ポンド)	その他の 剰余金 ¹ (百万ポンド)	利益剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配持分 ² (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2015年6月30日に終了した半期							
2015年1月1日現在残高	20,809	4,322	2,724	31,712	59,567	6,391	65,958
継続事業							
税引後利益	-	159	-	1,418	1,577	173	1,750
為替換算の変動	-	-	(228)	-	(228)	-	(228)
売却可能投資	-	-	(295)	-	(295)	-	(295)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	(613)	-	(613)	-	(613)
退職給付の再測定	-	-	-	(94)	(94)	-	(94)
その他	-	-	-	41	41	-	41
継続事業からの税引後包括利益合計	-	159	(1,136)	1,365	388	173	561
非継続事業からの税引後包括利益合計	-	-	(256)	193	(63)	28	(35)
当期包括利益合計	-	159	(1,392)	1,558	325	201	526
普通株式の新規発行	118	-	-	-	118	-	118
従業員株式制度に基づく株式発行	596	-	-	303	899	-	899
持分商品の発行および交換	-	-	-	-	-	-	-
その他の持分商品に係るクーポン支払額	-	(159)	-	32	(127)	-	(127)
優先株式の償還	-	-	-	-	-	-	-
自己株式	-	-	2	(706)	(704)	-	(704)
配当金支払額	-	-	-	(746)	(746)	(301)	(1,047)
その他の剰余金の変動	-	3	-	(54)	(51)	3	(48)
2015年6月30日現在残高	21,523	4,325	1,334	32,099	59,281	6,294	65,575

1 株式資本、その他の持分商品およびその他の剰余金の詳細は英語原文の81ページから82ページをご参照下さい。

2 非支配持分の詳細は英語原文の66ページをご参照下さい。

要約連結財務書類

要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
継続事業		
税引前利益	2,063	2,602
非現金項目の調整	(8,913)	3,359
営業資産および負債の変動	25,129	6,360
法人税等支払額	(394)	(756)
営業活動からのキャッシュ純額	17,885	11,565
投資活動からのキャッシュ純額	14,376	(13,494)
財務活動からのキャッシュ純額	(1,709)	(1,481)
非継続事業からのキャッシュ純額	371	138
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	6,897	25
現金および現金同等物の純増加 / (減少)	37,820	(3,247)
現金および現金同等物 期首現在	86,556	78,479
現金および現金同等物 期末現在	124,376	75,232

財務書類に対する注記(抜粋)

2 人件費

	2016年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)	2015年 6月30日に 終了した半期 (百万ポンド)
報酬費用		
繰延賞与費用	367	460
当年度賞与費用	387	414
販売手数料、コミットメントおよびその他のインセンティブ	43	63
パフォーマンス・コスト	797	937
給与	2,056	2,098
社会保険料	303	303
退職後給付	245	(191)
その他の報酬費用	179	174
報酬費用合計	3,580	3,321
その他の人材調達費用		
アウトソーシング	460	533
余剰人員削減および事業再編費用	266	69
臨時従業員費用	250	307
その他	45	62
その他の人材調達費用合計	1,021	971
人件費合計	4,601	4,292

人件費合計は主として下記要因によって7%増の46億100万ポンドとなりました。

- 当グループのパフォーマンス・コストは、繰延賞与費用の減少を主因に、15%減の7億9,700万ポンドとなりました。
- 確定退職給付負債の一部の評価額が法定引当金に合わせて調整され、前期に生じた4億2,900万ポンドの一回限りの利益が今期には発生しなかったことから、退職後給付費用が2億4,500万ポンドに増加しました。
- その他の人材調達費用は5%増の10億2,100万ポンドとなりました。2016年1月に発表されたインベストメント・バンクの戦略的取り組みに伴い余剰人員削減および事業再編費用が1億9,700万ポンド増加したことが主な要因です。

当グループの営業収益純額に対する報酬の比率が36%(2015年度上半期:29%)になったことを反映し、当グループの報酬費用は8%増加し、35億8,000万ポンドとなりました。退職後給付を除くと、当グループの報酬費用は5%減の33億3,500万ポンドとなり、当グループの営業収益純額に対する報酬の比率は33%(2015年度上半期:31%)になります。

通年の業績評価が可能になるまで報酬委員会はインセンティブ報奨に関する決定を行わないため、2016年度の賞与プールに関してまだ報奨の付与は行なわれていません。上半期の当年度賞与費用は会計上の要件に従って見積もられた費用に対する引当金を示しています。

財務書類に対する注記(抜粋)

13 引当金

	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)
英国の顧客に対する補償		
- 支払保証保険(PPI)に係る補償	1,951	2,106
その他の顧客補償	830	896
訴訟、競争および規制関連事項	474	489
余剰人員削減および事業再編	258	186
未実行の契約上のコミテッド・ファシリティおよび保証	59	60
不利な契約	144	141
その他引当金	272	264
合計	3,988	4,142

支払保障保険(PPI)に係る補償

2016年6月30日現在、パークレイズは支払保障保険(PPI)に係る補償費用および関連する請求処理費用に対して累計総額78億ポンド(2015年12月31日: 74億ポンド)を引当金として認識していました。このうち59億ポンド(2015年12月31日: 53億ポンド)が取り崩され、引当金の残高は20億ポンド(2015年12月31日現在: 21億ポンド)となっています。

2016年6月30日までに、顧客が開始した170万件(2015年12月31日現在: 160万件)の請求¹が受理され、処理されています。2016年度上半期に受理された請求件数は2015年度下半期より4%²減少(2015年度上半期より1%の増加)しました。減少は従来記録よりも遅いペースですが、想定通りです。

主に過去に売却されたポートフォリオに関して第三者によって管理されているものも含め、現在進行中の補正プログラムに関してPPI補償費用の見積もりを見直したことを反映させるため、4億ポンドの追加費用が認識されました。

2016年6月30日現在、合計20億ポンドの引当金は、想定されるPPI補償についてのパークレイズの最良の見積りを表しているものです。しかしながら、最終的な結果が現在の見積りと異なる可能性があります。未だ確認が留保されているものの、金融行為監督機構(FCA)によって提案された請求の期限(依然として承認待ち)に関する十分な引当金の水準を引き続き見直していく予定です。

引当金は、経営者の重大な判断が継続的に伴う多くの重要な仮定とモデリングを用いて算出されています。

- 顧客が開始した請求件数 – 受理されたものの未処理の請求に加え今後顧客が開始する請求の見積もりで、後者は時間の経過とともに件数が減少すると予想されています。
- 積極的の回答率 – 積極的な通知郵送の結果発生した請求件数。
- 承認率 – 審査の結果、有効であるとして承認された請求の比率。
- 平均補償額 – 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。
- 請求1件当たりの処理費用 – 有効な請求1件を評価および処理するためにパークレイズに発生する費用

これらの仮定は、特に請求管理会社(CMC)の活動から生じる苦情を含む将来の請求水準に係る不確実性のため、引き続き主観的なものです。

下表は、重要な仮定別に2016年6月30日までの実績データ、引当金算出に使用した予測の仮定および感応度分析を詳述し、将来の予想についての仮定が高すぎるまたは低すぎると判明した場合の引当金への影響を説明しています。

¹ これまで受理した請求件数の合計は、CMC経由で受理したものを含んでいますが、PPI保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。

² 受理された総件数。

財務書類に対する注記(抜粋)

仮定	2016年		感応度分析 引当金の増加/減少
	6月30日までの 累計実績	将来の予想	
顧客が開始した請求の受理および処理件数 ¹	171万件	57万件	5万件 = 1億500万ポンド
積極的な通知郵送	72万件	16万件	5万件 = 1,200万ポンド
積極的な通知郵送に対する回答率	27%	17%	1% = 200万ポンド
請求1件当たりの平均承認率 ²	87% ³	84%	1% = 1,400万ポンド
有効請求1件当たりの平均補償額 ⁴	1,845ポンド	1,830ポンド	100ポンド = 6,700万ポンド
請求1件当たりの処理費用 ⁵	305ポンド	280ポンド	5万ポンド = 1,400万ポンド

1 これまでに受理した請求件数の合計は、CMC 経由で受理したものを含んでいますが、PPI 保険証書が存在しない場合と積極的な通知郵送への回答を含めていません。

2 請求1件当たりの平均承認率はPPI 保険証書が存在しない場合を除いています。

3 平均承認率は主として2015年の補正額の増加によって変化しています。

4 平均補償額は保険証書1件当たりベースで表示されていますが、補正額は含んでいません。

5 承認された請求ベースの請求1件当たりの処理費用は、直接人件費および関連する間接費を含んでいます。

顧客補償

顧客補償に係る引当金は、パークレイズの事業活動遂行上の不適切な判断に伴う顧客、取引先および取引相手が被った損失または損害について、当該顧客、取引先および取引相手に支払う補償金の見積費用で構成されます。その他の顧客補償に係る引当金計上額には、2005年から2012年の間の特定の顧客向けの特定の外国為替取引に関する過去のプライシング慣行に関する2億8,200万ポンド(2015年:2億9,000万ポンド)、パッケージド・バンク・アカウントに関する1億1,800万ポンド(2015年:2億8,200万ポンド)、ならびにリテールおよびコーポレート事業全体における少額の引当金が含まれます。

財務書類に対する注記(抜粋)

21 セグメント別報告

事業部門別業績の内訳	バークレイズ UK (百万ポンド)	バークレイズ・ コーポレート& インターナショナル (百万ポンド)	本社 (百万ポンド)
2016年6月30日に終了した半期			
保険金控除後の収益合計	3,746	7,552	301
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(366)	(509)	(1)
営業収益純額	3,380	7,043	300
営業費用	(2,299)	(4,309)	(139)
その他の(費用)/収益純額 ¹	(1)	19	(27)
税引前利益	1,080	2,753	134
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	2,046	6,799	877

事業部門別業績の内訳	バークレイズ・コア (百万ポンド)	バークレイズ・ノンコア (百万ポンド)	バークレイズ・グループ (百万ポンド)
2016年6月30日に終了した半期			
保険金控除後の収益合計	11,599	(586)	11,013
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(876)	(55)	(931)
営業収益純額	10,723	(641)	10,082
営業費用	(6,747)	(950)	(7,697)
その他の費用純額 ¹	(9)	(313)	(322)
税引前利益/(損失)	3,967	(1,904)	2,063
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	9,722	3,791	13,513

¹ その他の(費用)/収益純額は、事業売却益(損)、関連会社およびジョイント・ベンチャーの損益に対する持分、売却目的資産に係る減損費用を表します。

財務書類に対する注記(抜粋)

事業部門別業績の内訳	パークレイズ UK	パークレイズ・ コーポレート& インターナショナル	本社
2015年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	3,635	7,556	455
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(333)	(384)	(1)
営業収益純額	3,302	7,172	454
営業費用	(2,588)	(4,820)	(105)
その他の(費用)/収益純額 ¹	(2)	28	(94)
税引前利益	712	2,380	255
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	2,022	5,661	622

事業部門別業績の内訳	パークレイズ・コア	パークレイズ・ノンコア	パークレイズ・グループ
2015年6月30日に終了した半期	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
保険金控除後の収益合計	11,646	465	12,111
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(718)	(61)	(779)
営業収益純額	10,928	404	11,332
営業費用	(7,513)	(1,077)	(8,590)
その他の費用純額 ¹	(68)	(72)	(140)
税引前利益/(損失)	3,347	(745)	2,602
	(億ポンド)	(億ポンド)	(億ポンド)
資産合計	8,305	3,662	11,967

¹ その他の(費用)/収益純額は、事業売却益(損)、関連会社およびジョイント・ベンチャーの損益に対する持分、売却目的資産に係る減損費用を表します。

収益の地域別内訳 ¹	2016年 6月30日に 終了した半期	2015年 12月31日に 終了した年度
	%	%
英国	54	55
欧州	10	10
米州	31	30
アフリカおよび中東	2	2
アジア	3	3
合計	100	100

¹ 地域は、取引相手の拠点に基づいています。

財務書類に対する注記(抜粋)

22 バークレイズ・ビーエルシー親会社貸借対照表

	2016年 6月30日現在 (百万ポンド)	2015年 12月31日現在 (百万ポンド)
資産		
子会社に対する投資	35,417	35,303
子会社に対する貸付金	14,687	7,990
デリバティブ	255	210
その他の資産	62	133
資産合計	50,421	43,636
負債		
銀行預り金	496	494
劣後負債	2,917	1,766
発行債券	11,770	6,224
負債合計	15,183	8,484
株主資本		
払込済株式資本	4,228	4,201
株式払込剰余金	17,535	17,385
その他の持分商品	5,321	5,321
株式償還準備金	394	394
利益剰余金	7,760	7,851
株主資本合計	35,238	35,152
負債および株主資本合計	50,421	43,636

子会社に対する投資

子会社に対する投資 354 億 1,700 万ポンド(2015 年度: 353 億 300 万ポンド)は、追加的 Tier 1 (AT1) 証券 53 億 2,100 万ポンド(2015 年度: 53 億 2,100 万ポンド)を含む、バークレイズ・バンク・ビーエルシーに対して行った投資を表します。当期中の 1 億 1,400 万ポンドの増加はバークレイズ・バンク・ビーエルシーに対して行なった現金拠出によるものです。

子会社に対する貸付金、劣後負債および発行債券

2016 年度上半期にバークレイズ・ビーエルシーは、固定利付劣後債 12 億 5,000 万米ドル(残高 29 億 1,700 万ポンド(2015 年度: 17 億 6,600 万ポンド)の劣後負債に含まれています。)、固定利付シニア債 43 億米ドル、固定利付シニア債 200 億円、固定および変動利付シニア債 17 億ユーロ、固定利付シニア債 1 億豪ドル(残高 117 億 7,000 万ポンド(2015 年度: 62 億 2,400 万ポンド)の発行債券に含まれています。)を発行しました。これらの取引を通じて稼得した収入は、バークレイズ・バンク・ビーエルシーの債券(いずれの場合もバークレイズ・ビーエルシーが発行した債券と同一の格付けが付されています。)への投資に使用され、残高 146 億 8,700 万ポンド(2015 年度: 79 億 9,000 万ポンド)の子会社に対する貸付金に含まれています。